Canon

PUB. DIJ-0349-000

HDビデオカメラ

iVIS HF R11
iVIS HF R10
iVIS HF R100

使用説明書

アイビス
iVISを使って
楽しく作ろう!!
思い出ライブラリー

入学式でのキリッとした横顔。
一等賞をもらったうれしそうな笑顔。
旅先で出合った景色、人、味覚。
心をくすぐる瞬間をiVISに収めましょう。

こだわりオート
オートで美しく撮る …… 42

どんな撮影シーンでも、
カメラにおまかせで、
きれいに撮れます。

今まではココが違う！
メモリーは軽い!スゴい!!

1 買ったその日から撮れる ………… 40

32GBの内蔵メモリー*に、標準画質SPモードで約9時間35分、買ったその日から、家族の笑顔が残せます。

*HF R11の場合。HF R100はSDカードが必要です。

瞬間を逃さない……77
プレRECを使う

急に訪れた撮影チャンスでも約3秒前からの映像が撮影されますので、感動を逃しません。

海外でも安心……244
世界の電圧/周波数に対応

変換プラグがあれば、どこでも充電可能です。一部の国では、そのままテレビにつないで見ることができます。

顔を検出して撮る……83
フェイスキャッチ

顔へのピントや明るさを自動調整。狙った人物を逃しません。

音楽と一緒に再生する……101
ビデオスナップ

印象的な場面を4秒ごとのシーンで撮影。撮りためて、音楽とともにドラマチックに再生できます。

2 一覧画面から一発再生……50

見たいシーンを探すとき、テープのように巻き戻し、早送りで頭出しする手間は一切不要。インデックス画面からパッと選んで一発再生です。

3 パソコンで保存や編集……170

ImageMixer 3では動画、フォトアプリケーションでは静止画のパソコンへの保存や管理などができます。詳しくは各ソフトウェアの説明書をご覧ください。

4 いろいろな残し方……168

ディスク作成やビデオ機器へのダビング、Webサイトへのアップロードなど、お好みの残しかたを選べます。

CONTENTS

もくじ

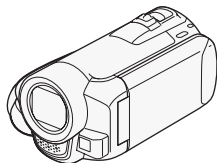
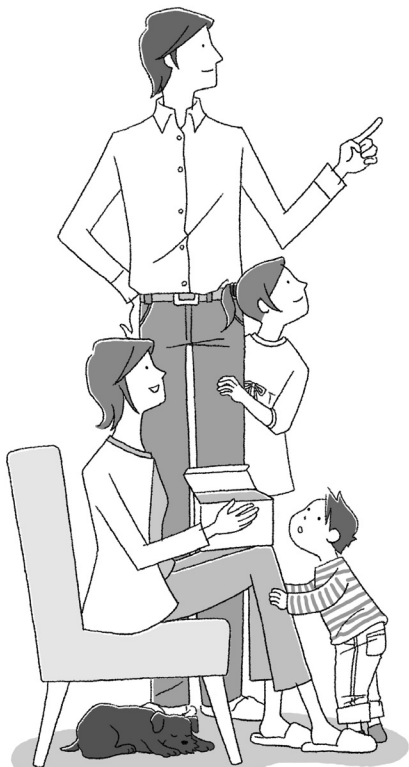
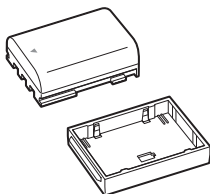
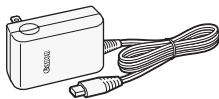
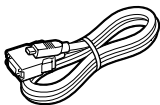
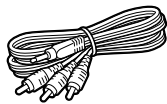
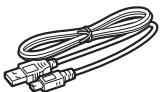
Chapter 3
写真

CONTENTS

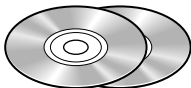
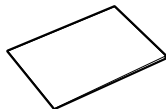
もくじ

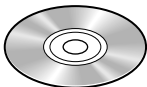
やりたいこと目次

そろっていますか？

箱の中に次のものが入っているかチェックしましょう。

ビデオカメラ本体

バッテリーパック BP-2L5

コンパクトパワーアダプター
CA-590

D端子ケーブル
DTC-100/S

ステレオビデオケーブル
STV-250N

USBケーブル IFC-300PCU

iVIS HF R11/HF R10/HF R100
使用説明書（本書）

動画用ソフトウェア

ピクセラ　アプリケーション　ディスク
PIXELA Application Disc Disc 1、Disc 2*
（動画の保存、管理、編集、再生用）

PIXELA ImageMixer 3 SE
インストールガイド

静止画用ソフトウェア

フォトアプリケーション Ver. 34／
音楽データディスク*
（静止画の保存、管理、印刷用）

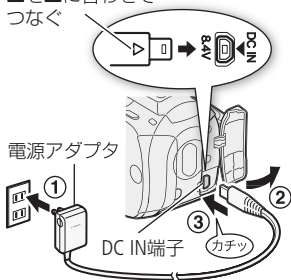
このディスクに入っている音楽データは、PIXELA ImageMixer 3 SEでのみ使用できます。CDプレーヤーでは再生できません。
詳しくはImageMixer 3取扱説明書（PDF）をご覧ください。

* 説明書が PDFデータとして入っています。

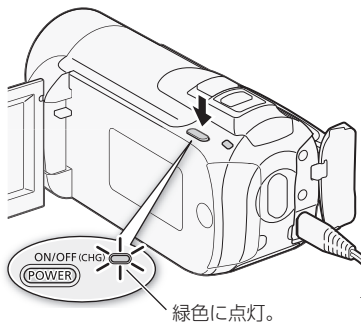
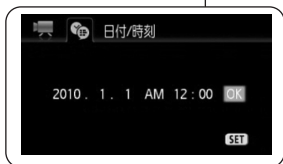
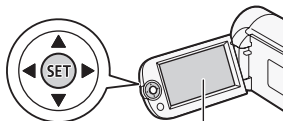
さっそく撮ってみよう

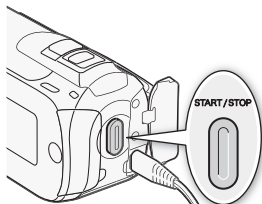
箱から出して、今すぐ撮影してみたい----という方のために一通りの操作を説明します。まずは内蔵メモリー*やカードに気楽に撮ってみましょう。

* HF R11/HF R10のみ

1 コンセントにつなぐ

2 電源をONにする

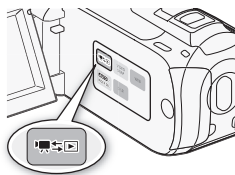
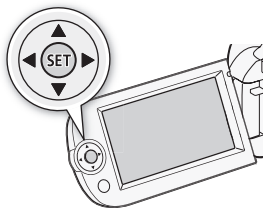
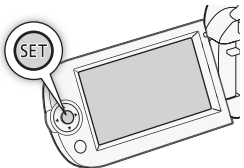
3 時計を合わせる

❶ 上下に押して、年を設定する。
- 左右に押すと年、月、日、時刻を選択できる。

❷ 左右に押してOKを選ぶ→ SET を押す。

4 押す ▶ 撮影開始！

- もう一度押すと撮影終了

映像を再生してみよう

電源を切らずにそのまま操作できます。

❶ 押す

❷ 見たいシーンを選ぶ

❸ SET を押す ▶ 再生開始！

再生を終えるとき

1. SET 上に押して操作案内（🕮 38、51）を出す。

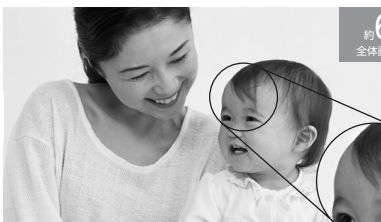
2. ■（停止）を選ぶ→ SET を押す。

ハイビジョンを楽しもう

本機は高精細なハイビジョン映像を撮影することができます。写真は、説明のためのイメージ写真です。

ハイビジョンは美しい

ハイビジョン画質 1920×1080画素*1

1080本

約6倍 全体画素数

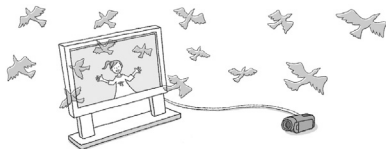
約2倍 有効走査線数

髪の毛一本まで
クッキリと再現

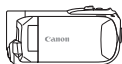
標準画質（従来） 720×480画素

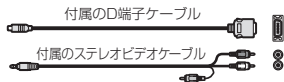
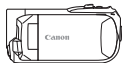
480本

HD CMOSセンサーによって、フルハイビジョン（水平1920×垂直1080画素）で映像を記録*1しますので、すみずみまで精細な美しさを再現します。

*1 録画モードがFXPの場合。他の画質では、水平1440×垂直1080画素で記録します。

ハイビジョンテレビで再生

HDMI™端子のあるハイビジョンテレビで見る　ハイビジョン画質

HDMIケーブル（別売）でつなぐだけ。もっとも美しく、カンタンにハイビジョン映像をお楽しみいただけます。

ハイビジョンテレビで見る　ハイビジョン画質

付属のD端子ケーブルとステレオビデオケーブルでつないでハイビジョン映像を再生できます。

D端子ケーブルで映像、ステレオビデオケーブルで音声が出力されます。

カードスロットのあるテレビやレコーダーで再生する　ハイビジョン画質

SD/SDHCカードスロットのあるAVCHD規格対応*2のテレビやレコーダーで、映像を記録したカードをカードスロットに入れて再生できます。詳しくはお使いの機器の説明書をご覧ください。

カードスロットのある
ハイビジョンテレビ

*2 AVCHD規格に対応した機器でも、機器によっては正しく再生できないことがあります。その場合は本機で再生してください。

この本の読みかた

クイックスタート

すばやく撮影をはじめる ビデオ 写真

液晶画面を閉じると、省エネ状態*1でスタンバイします。撮りたいときに液晶画面を開けば、約1秒*2で撮影可能状態に戻りますので、大切なシーンを逃すことはありません。

*1 バッテリーの消耗は撮影時の約1/3です。
*2 撮影可能状態になるまでの時間は、状況によって異なります。

撮る 見る

ビデオ
1 簡単に撮る（基本編）

1. スタンバイする
- 液晶画面を閉じる→電源ランプがオレンジ色に点灯してスタンバイ状態になる。

オレンジ色
ON/OFF (CHG)

2. クイックスタートする
- 液晶画面を開く→電源ランプが緑色に点灯して撮影できる状態になる。

緑色
ON/OFF (CHG)

48

すばやく撮影をはじめる

すばやく撮影をはじめる

ご注意
- スタンバイ中は電源を取りはずさないでください。

MEMO
スタンバイ状態にならない場合
- ACCESSランプ点滅中。
- メニュー表示中。

次のときはスタンバイ状態にならないことがあります。必ず電源ランプがオレンジ色に変わるのを確認してください。
- カードカバーが開いているとき。
- バッテリー残量が少ないとき。

オートパワーオフについて
- スタンバイ後10分後経過すると、節電のため自動的に電源が切れます。電源が切れたときは、電源を入れ直してください。
- 電源OFFまでの時間はメニューの「クイックスタート」で選択できます（□ xx）。
- スタンバイ中、通常の「オートパワーオフ」（□ xx）は無効になります。
- メニューの「クイックスタート」を「切」にすることで、クイックスタート機能を無効にすることもできます。
- 再び撮影を始めるときは、スタンバイ前のモードで起動します。

49

探すための見出し

知りたい機能をすばやく探すための見出し。左ページに章タイトル、右ページには機能の名前を載せている。

本文中の表記

10 (□10)	参照ページを示す。
参考 ▶▶	参考になるページなどを示す。
画面	液晶画面のこと。
カード	SDメモリーカード、SDHCメモリーカードのこと。
メモリー	「内蔵メモリー*」または「カード」のこと。* HF R11/HF R10のみ
ImageMixer 3	付属のソフトウェア「PIXELA ImageMixer 3 SE」のこと。

* 画面の写真はスチルカメラで撮影したものを使用しています。
* 画面は主にHF R10の画面を使用しています。

ビデオと写真のどちらで使えるかを示すマーク

ビデオ

動画の撮影や再生で使える機能。

写真

静止画の撮影や再生で使える機能。

ボタンの状態を示すマーク

撮る 見る

撮る／見るボタンを押すたびに、撮影と再生が切り換わる。この場合は撮影にする。

コラムのマーク

ご注意

守ってほしいこと。

MEMO

知っておいてほしいこと。

使う前に知っておいてください

かならず「ためし撮り」しましょう

大切な映像を撮るときは、必ず事前にためし撮りをして、正しく録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラ、カードなどの不具合で記録や再生ができない場合でも、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権に注意しましょう

本機で録画・録音したビデオや作成した音楽付き著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶画面について

液晶画面は、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

各部のなまえ

本文中に出てくる名称です。 ■ 内の数字は参照ページです。

HF R11 / HF R10

撮る／見る（撮る／見る）ボタン 36

VIDEO SNAP
（ビデオスナップ）ボタン 76

WEBボタン 195

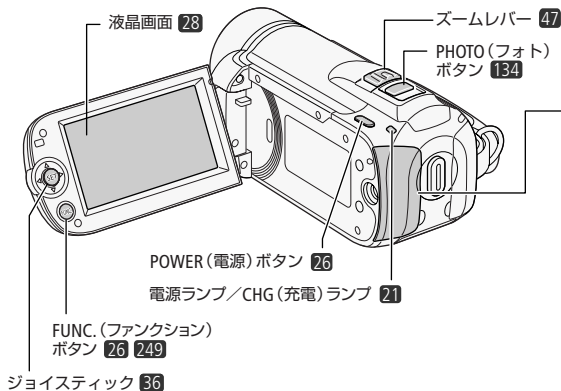
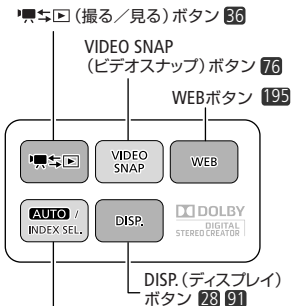
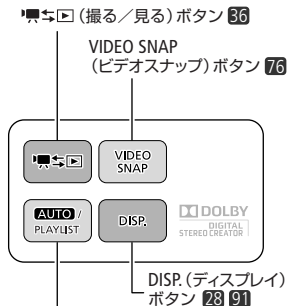
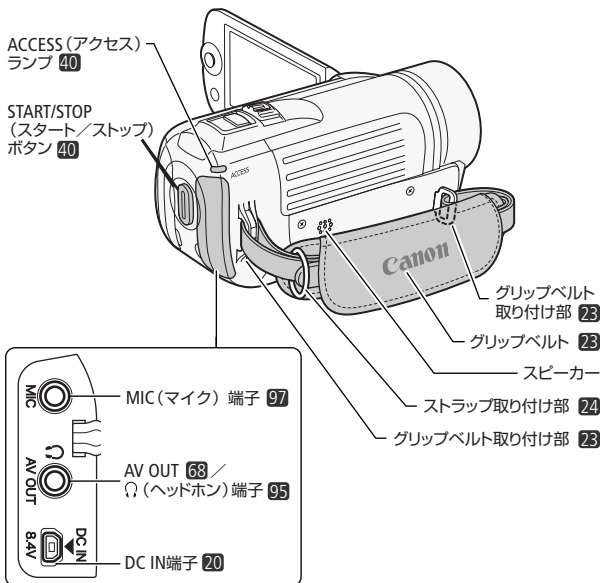
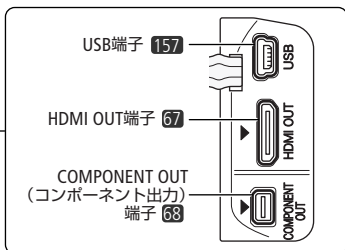
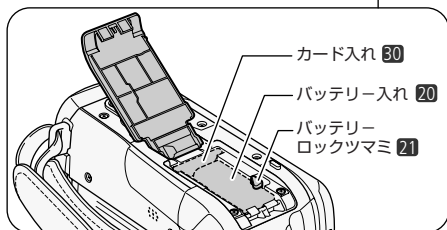
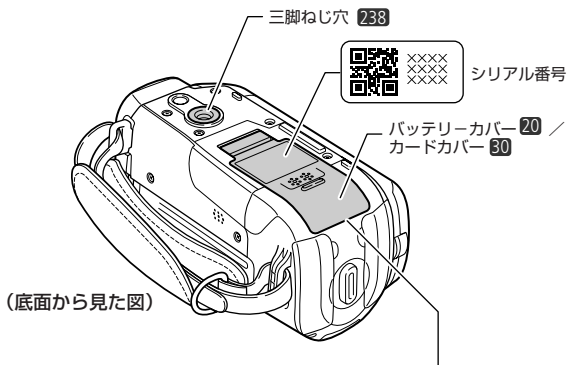
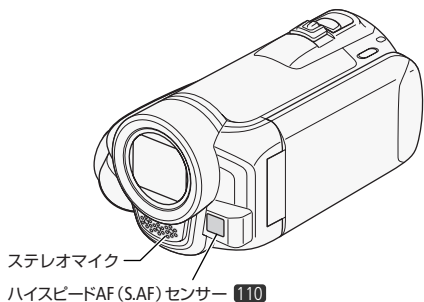
VIDEO SNAP

WEB

AUTO / INDEX SEL.

DISP.

DOLBY DIGITAL STEREO CREATOR

DISP.（ディスプレイ）
ボタン 28 91

AUTO（オート）/ INDEX SEL.
（インデックスセレクションー選択ー）
ボタン 55

HF R100

ACCESS（アクセス）ランプ 40

START/STOP（スタート／ストップ）ボタン 40

ACCESS

Canon

グリップベルト取り付け部 23

グリップベルト 23

スピーカー

ストラップ取り付け部 24

グリップベルト取り付け部 23

MIC
MIC（マイク） 端子 97

AV OUT
AV OUT 68／
(ヘッドホン）端子 95

DC IN
8.4V
DC IN端子 20

三脚ねじ穴 238

XXXX
XXXX
XXXX

シリアル番号

バッテリーカバー 20 ／
カードカバー 30

（底面から見た図）

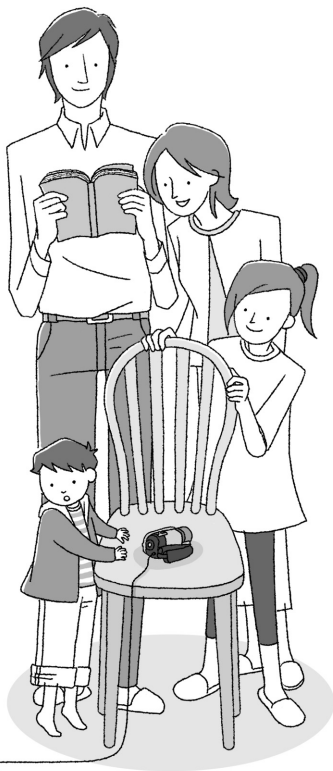
カード入れ 30

バッテリー入れ 20

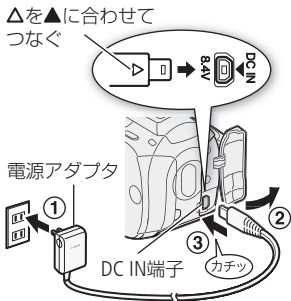
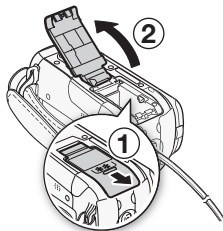
バッテリー
ロックツマミ 21

Chapter

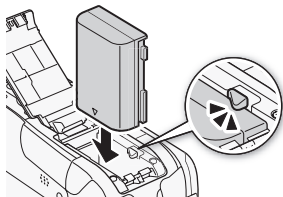
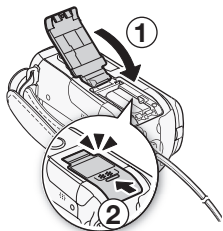
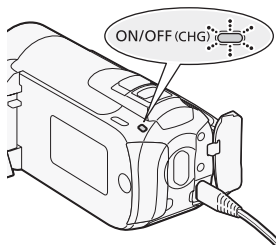
1 準備する

Getting Started

バッテリーを充電する

はじめてお使いになるときは、バッテリーを充電しましょう。

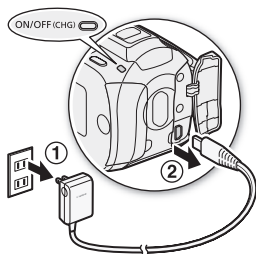
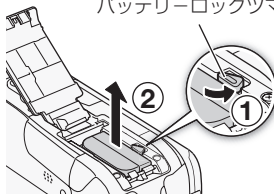
1 コンセントにつなぐ

2 カバーを開ける

3 バッテリーを取り付ける

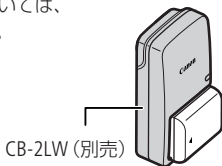
4 カバーを閉じる

準備

5 電源OFFで充電開始

1秒に2回赤く点滅→半分以上の充電
1秒に1回赤く点滅→半分以下の充電
他のパターンで点滅しているときは、「故障かな？」（ 209）をご覧ください。

6 点滅→消灯で充電おわり

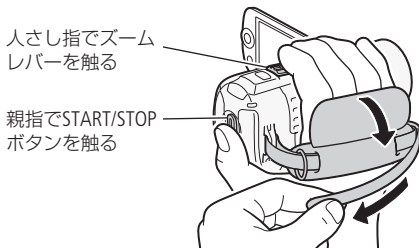
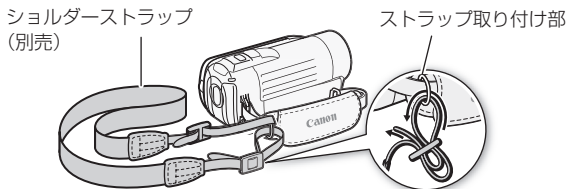
バッテリーを取りはずすとき

バッテリーロックツマミを矢印の方向に押して取り外す。

- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、電源ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損する恐れがあります。
- 10℃〜30℃の場所で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃を超える場所では充電できません。

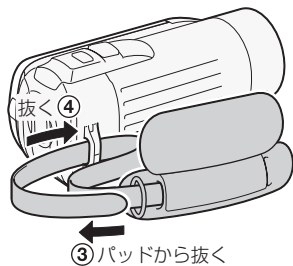
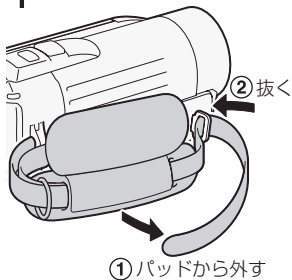
- 充電するときは電源を切ってください。電源が入っているときは充電できません。
- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- バッテリーをフル充電したときの使用時間は260〜261ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。
- 付属のバッテリーBP-2L5の充電時間は約140分です。なお、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 別売のバッテリーチャージャーCB-2LWを使うと約70分で充電できます。詳しくはバッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。
- バッテリーの取り扱いについては、238ページをご覧ください。

CB-2LW（別売）

付属品を準備する

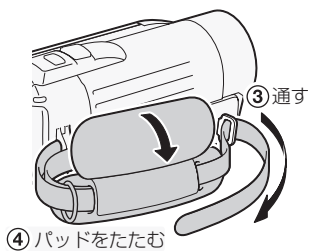
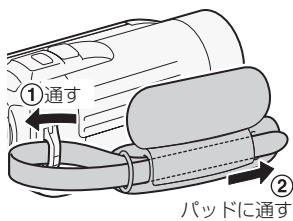
グリップベルトやストラップの調整をしましょう。

■ グリップベルトを調整する

■ ショルダーストラップ（別売）を取り付ける

■ リストストラップ（別売）を取り付ける

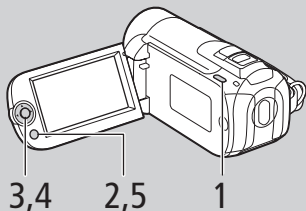
1 グリップベルトを外す

2 リストストラップを取り付ける

グリップベルトのストラップ取り付け部に取り付けることもできる。

ビデオカメラを低い位置にして撮るときに便利

グリップベルトを戻すときは

時計を合わせる

時刻は2カ所セットできます。海外旅行先の日時を設定しておくと、現地の日時で記録できます（📖 246）。

準備

撮る 見る

1 ONにする

はじめて使うとき

自動的に操作4の画面が表示されるので、❷〜❸の操作をして終了。

2 押す

3 地域を選ぶ

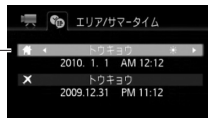
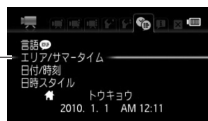
❶ (メニュー)→ を選ぶ。

❷ 上下に押して「エリア/サマータイム」を選ぶ→ SET を押す。

❸「トウキョウ」を確認する→ SET を押す。

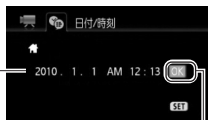
- 海外に住んでいるときは、左右に押して居住地域を選ぶ。

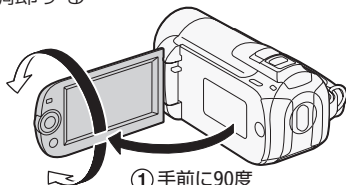
4 日時を設定する

❶ 上下に押して「日付/時刻」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して、年を設定する。

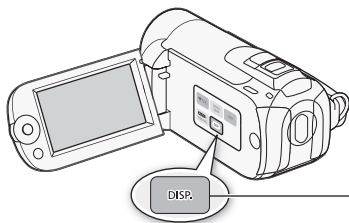
- ジョイスティックを左右に押すと年、月、日、時刻を選択できる。

❸ 左右に押して **OK** を選ぶ→ SET を押す。

5 押す

- 本機を約3か月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください（🕮 241）。

液晶画面を調整する

■ 位置を調節する

■ 画面の明るさを調節する

画面の明るさを2段階に切り換えられます。屋外撮影時、太陽光などで画面が見にくいときは明るくしてください。

電源が入っているとき、2秒以上押す

2秒以上押すごとに明るさが切り換わる。

- 画面の明るさを調整しても、記録される映像の明るさには影響しません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
- 画面の明るさはメニューの「液晶明るさ調整」で細かく調整できます。また、「バックライト低輝度」で画面をより暗くできます（□ 115）。

カードを入れる

動画や静止画をSDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードに記録できます。ただし、カードによっては動画を記録できないことがあります。次の表で確認してください。

SDスピードクラス4、6、10のカードの使用をおすすめします。

	容量	SDスピードクラス	動画記録
SDメモリーカード SD	64MB以下	—	—
	128MB以上	—	○*
		CLASS2 CLASS4 CLASS6 CLASS10	○
SDHCメモリーカード SDHC	2GB超	CLASS2 CLASS4 CLASS6 CLASS10	○

* カードによっては記録できないことがあります。

次のメーカー製のSDメモリーカードとSDHCメモリーカードについて、動画記録時の動作を確認しています（2009年10月現在）。

- Panasonic
- TOSHIBA
- SanDisk

SDスピードクラスとは？

SDメモリーカードやSDHCメモリーカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。メモリーカードを購入するときは、スピードクラスのマークを確認してください。

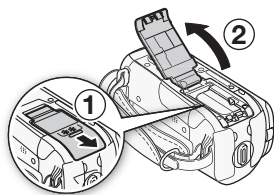
Eye-Fiカードをお使いになるときは

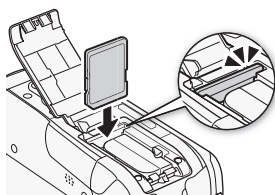
弊社は、Eye-Fiカードの機能（無線送信を含む）については保証いたしかねます。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。また、Eye-Fiカードの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認可を取得していないものの使用は認められていません。使用が認められているかご不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。

準備

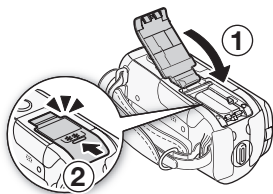
■ カードを入れる

カードをはじめて使用するときは、まず初期化してください（□ 34）。

1 カバーを開ける

- 電源が切れていることを確認。

2 カードをまっすぐ入れる

カードを出すとき

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

3 カバーを閉じる

- カードが正しく入っていない状態で無理に閉めない。

- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作2のような正しい向きで入れてください。

誤ってデータを消さないために

誤消去防止ツマミ

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できます。

記録メモリーを準備する

動画や静止画を内蔵メモリーまたはカードに記録できます。

■ 記録メモリーを選ぶ HF R11 / HF R10

動画や静止画の記録先を選択します。

撮る 見る

1 押す

2 動画または静止画の記録先を選ぶ

❶ (メニュー)→ を選ぶ。

❷ 上下に押して「動画記録」または「静止画記録」を選ぶ→ SET を押す。

総容量

使用量

動画撮影時間／静止画記録枚数

動画撮影可能時間／静止画記録可能枚数の目安*

* 現在設定している動画の録画モードや静止画の画質／サイズをもとに算出。

❸ 上下に押して「内蔵メモリー」または「カード」を選ぶ→ SET を押す。

- Eye-Fiカードを使うときは、事前に「Eye-Fiカードをお使いになるときは」(📖 30)を確認してください。

3 押す

準備

● 撮影した動画を本機で変換して、標準画質のDVDを作成したりWebアップロードを行ったりするときは、動画の記録先を内蔵メモリーに設定して撮影してください。

■ 長時間連続して撮影する(リレー記録) HF R11 / HF R10

動画の場合、内蔵メモリーがいっぱいになったら自動的にカードに記録できます。

撮る 見る

1 動画を記録していないカードを入れる

(29)

2 押す

3 リレー記録を選ぶ

❶ (メニュー)→ → 「リレー記録 [ ]」を選ぶ→ を押す。

❷「入」を選ぶ→ を押す。

4 押す

リレー記録が解除される場合

- 電源を切ったとき。
- カードカバーを開けたとき。
- AUTO/INDEX SEL.ボタン、 ボタンを操作したとき。
- 記録先をカードに変更したとき。

■ 初期化する

カードをはじめて使用するときや、内蔵メモリー*やカードに記録した動画／静止画などすべての情報を消すときに初期化します。初期化には「初期化」と「完全初期化」があり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

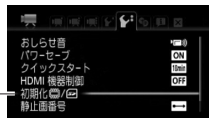
* HF R11 / HF R10 ご購入時、すぐに撮影できるように内蔵メモリーは初期化されています。また、ビデオスナップなどに使う音楽が入っています。

撮る 見る

1 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

- 初期化中は取り外さない。

2 押す

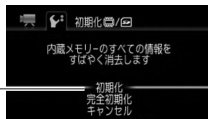
3 初期化するメモリーを選ぶ

❶ (メニュー)→ →「初期化 */ 」を選ぶ→ を押す。

❷「内蔵メモリー*」または「カード」を選ぶ→ を押す。

* HF R11/HF R10のみ

4 初期化を選ぶ

❶「初期化」または「完全初期化」を選ぶ
→ SET を押す。

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

完全初期化を中止するとき

SET (中止)を押す。メモリーはそのまま使用できるが、データはすべて消える。

❸ SET (OK)を押す。

5 押す

- 初期化すると、メニューでプロテクト設定をした静止画を含め、すべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたい動画や静止画がある場合は、パソコンやDVDなどにバックアップ(📖 170、175)してから初期化してください。
- 初期化すると、ビデオスナップなどに使用するために、パソコンから転送した音楽が消去されます。なお、ご購入時、内蔵メモリー*に保存されていた音楽は消去されません。

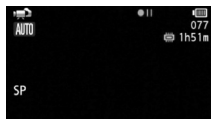
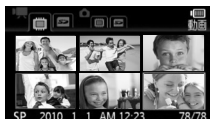
  * HF R11/HF R10のみ
- Eye-Fiカードを使用する場合は、カードに付属のソフトウェアをパソコンにインストールしてから初期化してください。初期化すると、カードに保存されているソフトウェアが消去されます。

基本の操作をおぼえよう

■ ビデオや写真の撮影・再生のしかた

準備

撮影するのか、再生するのかを選ぶ

撮る／見るボタン

撮影時の画面

再生時の画面（インデックス画面）

■ 再生画面の一発表示

電源OFFのときに押すだけで
再生画面に！

動画を再生するのか、静止画を再生するのかを選ぶ 50

ジョイスティック

① 上下に押して移動。
② 左右に押して選ぶ。

再生時の画面（インデックス画面）

動画を撮るのか、静止画を撮るのかを選ぶ

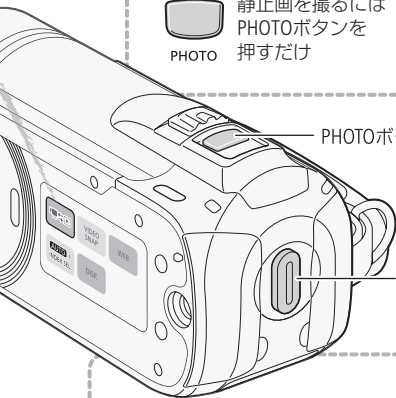
START/STOP

動画を撮るには
START/STOPボタン
を押すだけ

PHOTO

静止画を撮るには
PHOTOボタンを
押すだけ

応用モード (□ 42)
撮影シーンに合わせて
色んな調整や設定が可能。

こだわりオート (□ 42)
細かい設定はカメラまか
せで、動画と静止画を
撮影可能。

PHOTOボタン

START/STOPボタン

マークの意味

動画

静止画

内蔵メモリー
HF R11 / HF R10

カード

拡大画面

■ 操作案内を使う

撮影時のピントや露出などの細かい調整や、再生時の動画の早送りや静止画の印刷設定*などの操作を、操作案内で行うことができます。

* 本機とプリンターをUSBケーブルでつないだとき（📖 157）

撮る 見る*

* 動画再生時の使いかたは、61ページをご覧ください。

1 上に押す

● 操作案内が出る。

2 上下に押して、項目を選び、SET を押す。

● 選んだ項目が表示され、「ON」と「OFF」または「M」（手動）と「A」（自動）が切り換わる。

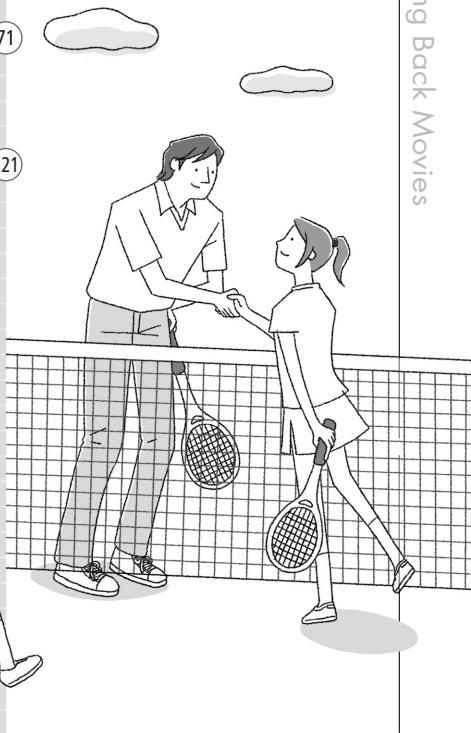
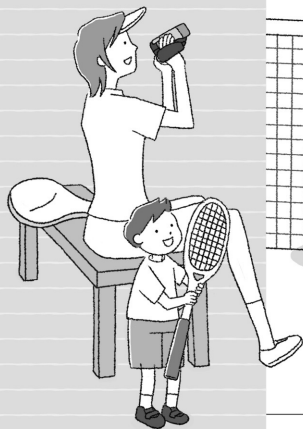
以降の操作については、設定する機能によって異なります。それぞれの機能のページをご覧ください。

- 操作2の後にジョイスティックを下に押すと表示が消えます。ジョイスティックを上下に押すと操作案内が再び表示されます。
- 操作案内を表示中に2秒間操作しないと、選択していた項目のみの表示に切り換わります。

Chapter

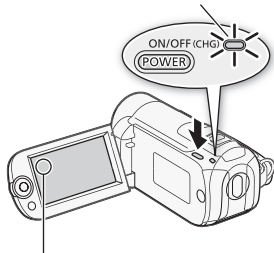
2

ビデオ

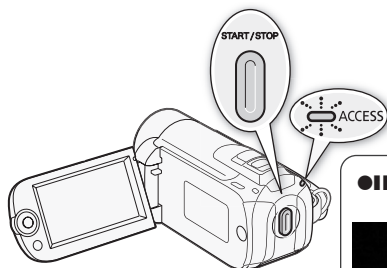
Recording and Playing Back Movies

ビデオを撮る ビデオ 写真

動画は内蔵メモリー*またはカードに記録できます。

* HF R11/HF R10のみ

1 ONにする

(□ 37)または (□ 37)が表示される

● カードに記録するとき(□ 32)。

2 押す ▶ 撮影開始!

もう一度、START/STOPボタンを押す。

電源を切るとき

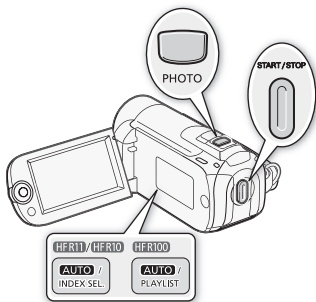
1. ACCESSランプが消えていることを確認する。
2. POWERボタンを押す。
3. 液晶画面を垂直にしてから閉じる。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - AUTO/ INDEX SEL.ボタン、AUTO/PLAYLISTボタンまたは、🎞⇆▶ ボタンを押さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください（ 📖 170）。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

- バッテリーを使っているときに、約5分間何も操作しないと、節電のため電源が切れます（ 📖 117）。このときは電源を入れ直してください。
- 液晶画面に光が当たって映像がよく見えないときは、画面の明るさを調節してください（ 📖 115）。

応用モードとこだわりオート

いろいろな調整ができる「応用モード」と、おまかせでキレイに撮れる「こだわりオート」を切り換えることができます。

HF R11 / HF R10 AUTO/INDEX SEL. ボタン
HF R100 AUTO/PLAYLIST ボタン

応用モード

撮影シーンに合わせて露出やピントなどを調整したり、メニューから設定項目を変更して撮影できます。

動画を撮るには
⇒ START/STOPボタンを押すだけ

静止画を撮るには
⇒ PHOTOボタンを押すだけ

こだわりオートの自動設定機能とは

ビデオカメラはシーンに応じて、ピント合わせや被写体の明るさ、色合い、手ブレ補正、画質が最適になるように自動的に調整します。判別した被写体やシーンに応じて、画面に次のようなマークが出ます。

被写体＼背景	明るい（灰色）	青空（水色）	鮮やかな色（緑/黄/赤色）	夕景（オレンジ色）
静止した人物	( )	( )	( )	–
動いている人物	( )	( )	( )	–
風景など人物以外の被写体	AUTO ( )	AUTO ( )	AUTO ( )	
近くの被写体	( )	( )	( )	–

（ ）内は逆光下の場合。

被写体＼背景	暗い（紺色）		
		スポットライト	夜景
静止した人物			
動いている人物			
風景など人物以外の被写体	AUTO		
近くの被写体			

このモードではズーム（ 47）、クイックスタート（ 48）、ビデオスナップ（ 76）のみ使えます。

- シーンによっては、実際のシーンと異なるマークが出ることがあります。特に背景がオレンジ色や青色の壁などのときは、 や「青空」のマーク類が出て、適切な色合いで撮影できないことがあります。そのときはPモードで撮影することをおすすめします。

こだわりオートに切り換えたとき
メニューの設定内容はご購入時の設定に戻ります。ただし以下のメニューのみ応用モードで設定した内容がそのまま保持されます。

FUNC.メニューの設定内容
- 「録画モード」(動画記録時)、画質/サイズ(静止画記録時)

メニューの設定内容
- 「動画記録」、「静止画記録」、「ビデオスナップ記録時間」、「オートスローシャッター」
- (システム設定1)、(システム設定2)、(言語・日時設定)の全項目

画質を選ぶ ビデオ 写真

録画モードにはFXP、XP+、SP、LPの4種類があります。高画質で撮影したいときはFXPまたはXP+、長時間撮影したいときはLPをお選びください。

1 押す

2 録画モードを選ぶ

❶ 上下に押して**SP**を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

3 押す

録画時間の目安

録画モード	FXP*1	XP+	SP	LP
4GBカード	30分	40分	1時間10分	1時間30分
HF R10 内蔵メモリー*2 8GBカード	1時間	1時間25分	2時間20分	3時間
16GBカード	2時間5分	2時間50分	4時間45分	6時間5分
HF R11 内蔵メモリー*2 32GBカード	4時間10分	5時間45分	9時間35分	12時間15分

*1 水平1920×垂直1080画素で記録されます。他の録画モードでは1440×1080画素で記録されます。

*2 ご購入時、内蔵メモリーには約75MBの音楽データが保存されています。

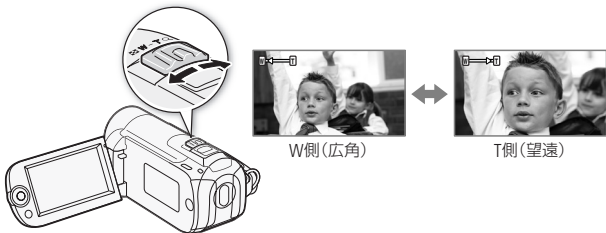
- 被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているため、録画時間は撮影するシーンによって変化します。
- こだわりオートに切り換えても設定した録画モードは変わりません。

拡大して撮る ビデオ 写真

ズームレバーをT側に押すと20倍まで拡大して撮影できます（光学ズーム）。W側に押すと、元の大きさに戻ります。デジタルズームを使うと、400倍まで拡大することができます（ 📖 109）。

撮る 見る

W側（広角）

T側（望遠）

被写体との距離について

- ズーム撮影をするときは被写体から1m以上離れてください。
- ズームレバーをW側に押して最も広角にすると約1cmまで近づいて撮影できます。

ズームスピードについて

- ご購入時の設定では、ズームレバーを浅く押すとゆっくりとズームし、深く押すと早くズームします（可変速）。
- メニューの「ズームスピード」（ 📖 109）で、スピード3（速い）～スピード1（遅い）の固定速を選ぶこともできます。

● 撮影一時停止状態でのズームは、撮影中に比べスピードが速くなります（ただし、「ズームスピード」を「可変速」に設定したときのみ）。また撮影一時停止中にプレREC（ 📖 77）を「ON」にしていると遅くなります。

すばやく撮影をはじめる

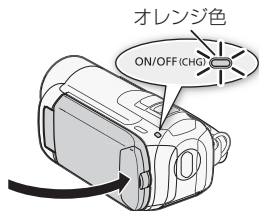
液晶画面を閉じると、省エネ状態*1でスタンバイします。撮りたいときに液晶画面を開けば、約1秒*2で撮影可能状態に戻りますので、大切なシーンを逃すことはありません。

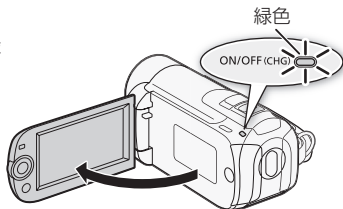
*1 バッテリーの消耗は撮影時の約1/3です。

*2 撮影可能状態になるまでの時間は、状況によって異なります。

撮る 見る

1. スタンバイする

- 液晶画面を閉じる→電源ランプがオレンジ色に点灯してスタンバイ状態になる。

2. クイックスタートする

- 液晶画面を開く→電源ランプが緑色に点灯して撮影できる状態になる。

● **スタンバイ中は電源を取りはずさないでください。**

スタンバイ状態にならない場合

- ACCESSランプ点滅中。
- メニュー表示中。

次のときはスタンバイ状態にならないことがあります。必ず電源ランプがオレンジ色に変わるのを確認してください。

- カードカバーが開いているとき。
- バッテリー残量が少ないとき。

オートパワーオフについて

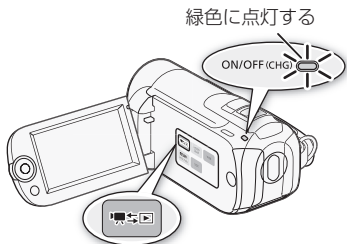
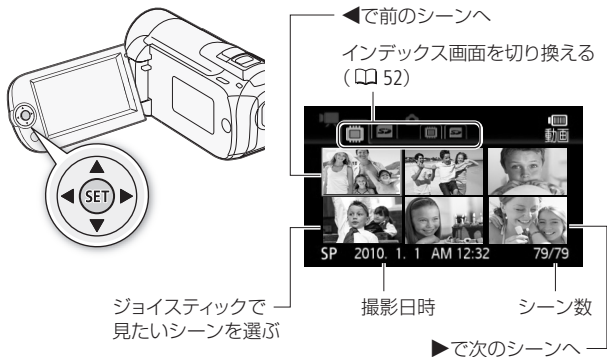
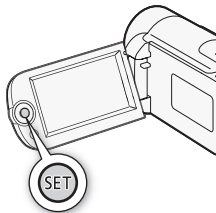
- スタンバイ後10分後経過すると、節電のため自動的に電源が切れます。電源が切れたときは、電源を入れ直してください。
- 電源OFFまでの時間はメニューの「クイックスタート」で選択できます（ 116）。
- スタンバイ中、通常の「オートパワーオフ」（ 117）は無効になります。

● メニューの「クイックスタート」を「切」にすることで、クイックスタート機能を無効にすることもできます。

● 再び撮影を始めるときは、スタンバイ前のモードで起動します。

ビデオを見る ビデオ 写真

撮った動画を液晶画面で見ます。

1 押す

2 見たいシーンを選ぶ

3 押す ▶ 再生開始！

- 再生中にジョイスティックを上に押すと操作案内が表示されるので、上下に押して操作する。
  ジョイスティックを下に押すと操作案内を消すことができる（□ 38）。

- 選んだシーンの再生が終わると、つぎのシーンが再生される。

音の大きさを変える

1. 🔊 を選ぶ。
2. 左右に押して調整する。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - AUTO/ INDEX SEL.ボタン、AUTO/PLAYLISTボタンを操作しない。
  - 🎥⇆▶ ボタンを押さない。
- 他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。

- 撮影条件によっては、シーンが切り換わるときに映像が止まったり、音声が途切れたりすることがあります。

■ インデックス画面を切り替える

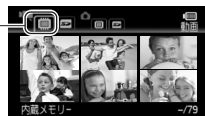
撮る 見る

表示するメモリーを切り換える

インデックス画面で内蔵メモリー*とカードの動画、静止画を切り換えられます。

* HF R11/HF R10のみ

1 上に押す

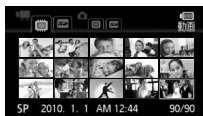
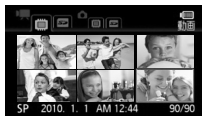
- オレンジ色になる。

2 左右に押してメモリーを切り換える

- 選んだメモリーのシーンがインデックス画面に出る。

3 下に押す

- 1つのシーンが選択される。

表示するシーン数や静止画枚数を切り換える

インデックス画面に一度に表示するシーン数を切り換えられます。ズームレバーをW側に押すと15シーンまたは15枚表示され、T側に押すと6シーンまたは6枚表示されます。

15シーン／枚

6シーン／枚

見たいシーンを選ぶ ビデオ 写真

インデックス画面を表示しているときに、用途に合わせて表示内容を切り換えて、お好みのシーンを選ぶことができます。

撮る **見る**

インデックス画面ごとに選ぶ

1 シーンを選ぶインデックス画面を出す

2 下に押す

- スクロールバーが出る。

3 左右に押してインデックス画面を選ぶ

- 上に押すと、1つのシーンの上に枠が出る。

ビデオスナップから選ぶ

VIDEO SNAP

1 押す

- ビデオスナップだけのインデックス画面が出る。

プレイリストから選ぶ

1 ビデオスナップのシーンを選ぶとき 押す

AUTO/INDEX SEL. AUTO/PLAYLIST

2 HFR11 / HFR10 内蔵メモリー選択時
AUTO/INDEX SEL.ボタンを押す。
カード選択時
AUTO/INDEX SEL.ボタンを押す。→
「プレイリスト」を選んで SET を押す。
HFR100 AUTO/PLAYLISTボタンを押す。

Web用／DVD用*画面を選ぶ HFR11 / HFR10

* 標準画質に変換した動画。Webアップロード用とDVDライター用がある（□ 182、195）。

VIDEO SNAP

1 ビデオスナップのシーンを選ぶとき 押す

AUTO/INDEX SEL.

2 カードを選択してAUTO/INDEX SEL.ボタンを押す

「Web用（MPEG2)」または「DVD用（SD-VIDEO)」を選んで SET を押す。

● 「Web用」または「DVD用」のシーンは、再生と停止のみ行えます。早送り／早戻しやスロー再生などはできません。

カレンダー表示から選ぶ

1 ビデオスナップのシーンを選ぶとき 押す

2 押す

3 カレンダーを選ぶ

❶ 左右に押して (シーン検索)を選ぶ → SET を押す。

❷ 上下に押して「カレンダー」を選ぶ→ SET を押す。

4 撮影した日付を選ぶ

❶ 上下に押して枠を年、月に合わせ、左右に押して数字を選ぶ。

❷ 上下に押して枠を日に合わせ、上下左右に押して数字を選ぶ。

- シーンのある日は白で表示される。

中止するとき

FUNC.ボタンを押す。

ビデオ 2 簡単に見る(基本編)

5 (SET) を押す

- 選んだ日付の最初のシーンがインデックス画面に出る。

- カレンダーの開始曜日は、メニューの「カレンダー指定」で選択できます（□ 119）。

撮影した日付から選ぶ

1 ビデオスナップのシーンを選ぶとき 押す

2 押す

3 日付選択を選ぶ

❶ 左右に押して (シーン検索)を選ぶ → SET を押す。

❷「日付選択」を選ぶ→ SET を押す。

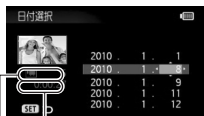
4 撮影した日付を選ぶ

その日の撮影時間

シーン数

左右に押して枠を年、月、日に合わせ、上下に押して年、月、日を選ぶ。

FUNC.ボタンを押す。

5 SET を押す

- 選んだ日付の最初のシーンがインデックス画面に出る。

顔が検出されたシーンから選ぶ

フェイスキャッチ機能（🕮 83）を使って撮ったシーンのうち、顔が検出されたシーンのみをインデックス画面に表示できます。ビデオスナップのインデックス画面では、この機能は使えません。

1 押す

2 顔ジャンプを選ぶ

❶ 左右に押して（シーン検索）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して「顔ジャンプ」を選ぶ→ SET を押す。

3 シーンを選ぶ

中止するとき

FUNC.ボタンを押す。

早送りや早戻しなどをする

早送りや早戻し、スロー再生、スキップ再生などを使って再生できます。

1 動画再生中 上に押す

- 操作案内が出る。

2 項目を選ぶ

左右の機能を使うとき

左右に押す。

真中の機能を使うとき

SET を押す。

機　能	操　作	説　　明
早送り*[1]	再生中に ▶▶	押すたびに再生速度が約5倍→約15倍→約60倍に切り換わる。*[2]
早戻し*[1]	再生中に ◀◀	
スロー再生*[1]	一時停止中に ❙▶	押すたびに再生速度が約1/8倍→約1/4倍に切り換わる。*[2]
スロー逆再生*[1,3]	一時停止中に ◀❙	
スキップ再生	再生中に ▶▶❙	次のシーンの先頭から再生。
	再生中に ❙◀◀	現在のシーンの先頭から再生。
	再生中に2回押す ❙◀◀	前のシーンの先頭から再生。

*[1] 操作中、画面が乱れることがあります。
*[2] 画面に出る倍速表示は目安です。
*[3] 連続したコマ戻しのように再生されます。

- 操作中は音声が聞こえません。
- 早送りや早戻し中に SET ボタンを押すとふつうの再生に戻り、スロー再生／スロー逆再生中に押すと一時停止に戻ります。

シーンや写真をまとめて選ぶ ビデオ 写真

内蔵メモリーからカードにコピーしたり*、シーンや静止画を消去したりするときなどに、複数のシーンや静止画をあらかじめ選んでおくことで、まとめて操作できます。

* HF R11/HF R10のみ

撮る 見る

1 ビデオスナップのシーンを選ぶとき 押す

2 押す

- 静止画の場合は、インデックス画面に切り換える。

3 シーンまたは静止画を選択する

❶ 左右に押して☑（選択）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して「個別設定」を選ぶ→ SET を押す。

❸ シーンまたは静止画を選ぶ→ SET を押す。

- 選んだシーンには ✓ が付く。

❹ ❸の操作を繰り返して、選択したいシーンまたは静止画すべてに ✓ を付ける。

選択を解除するとき

❸でもう一度 SET を押す。

選択をすべて解除するとき

❶ 操作3の❷で「全解除」を押す→ SET を押す。

❷ 「はい」を押す→ SET を押す。

❸ SET (OK)を押す。

4 2回押す

- 選択の設定は、電源を切ったり 🎥⇆▶ ボタンを押したりすると解除されます。
- プレイリストのシーンは選択できません。
- シーンや静止画は100シーン／枚まで選べます。

シーンを消す

ビデオ
写真

1つのシーン、あらかじめ選んだシーン、撮影したある日の全シーン、または記録されたすべてのシーンをまとめて消すことができます。プレイリスト内のシーンを消す場合は、125ページをご覧ください。

撮る 見る

1 ビデオスナップのシーンを消すとき 押す

2 シーンを選ぶ

- 撮影したある日のすべてのシーンを消す場合は、その日の動画の内の1つを選ぶ。
- あらかじめ選んだシーンを消す場合は、「選択」で選ぶ（62）。

3 押す

4 シーンを消す

❶ 左右に押して（消去）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して 「全シーン」、「この日の全シーン」、「1シーン」または「選択したシーン」を選ぶ→ SET を押す。

❸ 「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき

SET（中止）を押す。「1シーン」以外を選んだときは操作を中止できる。一部のシーンは消去される。

❹ SET（OK）を押す。

5 押す

- **一度消したシーンは元に戻りませんので、消す前にシーンを確認してください。**
- 大切な映像データは、あらかじめバックアップしてください（□ 170）。
- シーン消去中、ACCESSランプが点灯しているときは、次のことを必ず守ってください。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - 撮影モードを切り換えない。

- プレイリストに追加されているシーンを消すと、プレイリスト上のシーンも消去されます。
- メモリーに記録されているすべてのシーンを消して容量を元に戻す場合は、初期化します（□ 34）。
- 他機で記録や編集をしたシーンは消去できないことがあります。

テレビで見る ビデオ 写真

テレビで再生すると、より大きな画面で鑑賞できます。ハイビジョンテレビにつないで美しい映像をお楽しみください。

1 テレビの端子をチェックし、接続方法を決める

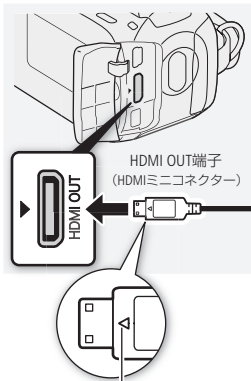
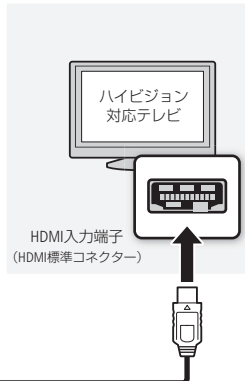
2 本機とテレビの電源を切る

3 ケーブルを使ってテレビと接続する

4 本機とテレビの電源を入れる
- テレビ側で入力端子を切り換える

5 再生する
動画を見るとき（50）／静止画を見るとき（138）

ハイビジョン画質で見る

HDMI端子に接続する

（HDMI OUT端子）に接続するときの注意

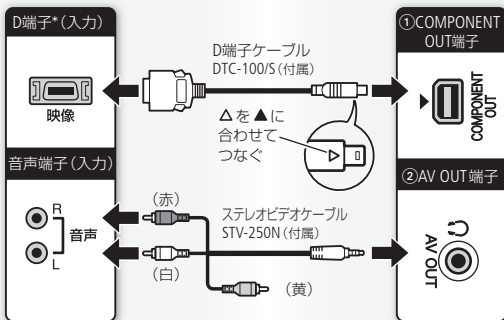
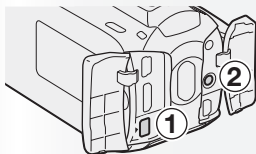
- この端子は出力専用です。他機の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- この端子で接続しているときは、他の端子から映像は出力されません。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- テレビによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、Bまたは Cの方法で接続してください。

HDMIとは？

1本のケーブルで映像と音声を高品位なデジタル信号のままで送受信できる規格です。本機のHDMI OUT端子では、接続するテレビの解像度に自動的に変換して映像を出力します（120）。

ハイビジョン画質で見る

B D端子と音声端子に接続する

つなぐ

* D3端子につなぎます。D1端子／D2端子では見られません。

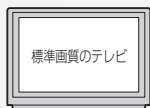
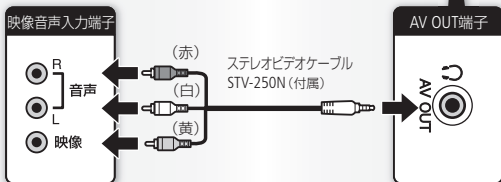
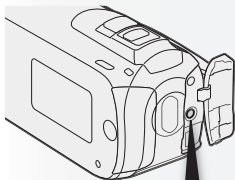
設定する

1 メニューの「AV/ヘッドホン」（🕮114）を「AV」に設定する。

ビデオ
2 簡単に見る（基本編）

標準画質で見る

映像／音声端子に接続する

つなぐ

設定する

1 ワイド（16:9）モードのない標準画質のテレビ（4:3）につなぐときは、メニューの「テレビタイプ」（🕮 114）を 「ノーマルテレビ」に設定する。

2 メニューの「AV/ヘッドホン」（🕮114）を「AV」に設定する。

- メニューの「x.v.Color」を「入」にして撮影した動画を、x.v.Color対応のテレビで見るときは、テレビ側の設定が必要になるときがあります。詳しくはテレビの説明書をご覧ください。
- テレビで見るときは、本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐと、バッテリーの消耗を気にせずご覧になれます。
- AV OUT端子にステレオビデオケーブルをつなぐと、スピーカーから音声は出ません。
- 接続方法 C でつなぐ場合、テレビがビデオID-1方式に対応していると、自動的にワイド画面（16：9）に切り換わります。切り換わらない場合は、テレビ側で切り換えてください。

場面や目的に合わせて撮る ビデオ 写真

照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕日、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせてきれいに撮影します。**P** ではカメラまかせで撮影でき、すべての機能を使用できます。

撮る 見る

■ Pプログラム AE

AEは、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で、自動露出のことです。

1 押す

2 撮影モードを選ぶ

上下に押して **P** を選ぶ。

P（プログラムAE）	：シャッタースピードとしぼりが自動で設定される。

3 押す

■ スペシャルシーンモード（SCN）

1 押す

2 撮影モードを選ぶ

❶ 上下に押して **P** を選ぶ。

❷ 左右に押して 🎭 を選ぶ→ (SET) を押す。

❸ 左右に押していずれかを選ぶ。

3 押す

「場面に合わせて撮るとき」に選べる項目

ポートレート

背景をぼかして、被写体を引き立たせる。

スポーツ

動きの速い被写体を撮る。

スノー

照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。

ビーチ

照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。

夕焼け

夕焼けを色鮮やかに撮る。

夜景

夜景をきれいに撮る。

ローライト

暗い場所で被写体を明るく撮る。

スポットライト

スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。

打上げ花火

打上げ花火をきれいに撮る。

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- ポートレートのときにズームレバーをT側にすると、背景がより効果的にぼけます。
- スノー／ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。

ローライトについて

- 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
- 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- 画面に白い点などが出ることがあります。
- 自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください（動画時のみ）（🕮 81）。

打上げ花火について

- 手ブレを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。
- 静止画撮影中は、シャッタースピードが遅くなるため、三脚などで固定してください。

映画のように撮る ビデオ 写真

シネマエフェクトを使用すると映画のような雰囲気のある映像を撮影できます。

1 押す

2 シネマモードを選ぶ

❶ 上下に押して P を選ぶ。

❷ 左右に押して を選ぶ。

3 フレームレートをPF24にする

❶ (メニュー)→ →「フレームレート」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して「PF24」を選ぶ→ SET を押す。

4 押す

ビデオスナップを撮る

ビデオスナップモードを使って撮影すると、4秒間*の短い映像（ビデオスナップ）が記録できます。記録されたビデオスナップは、好きな音楽と一緒に再生できます（□ 101）。

* 記録時間は、メニューの「ビデオスナップ記録時間」で2秒、4秒、8秒のいずれかに変更できます（□ 107）。

■ 撮影する

撮る 見る

VIDEO SNAP

1 押す

- 画面に青い枠が出る。

2 押す

- 約4秒間撮影し、自動的に撮影一時停止になる。
- 撮影中は青い枠が動き、記録後、シャッターを切るように画面が一度黒くなる。
- ビデオスナップのシーンにはインデックス画面で が付きます。

- ボタンを操作すると、ビデオスナップモードは解除されます。

ビデオ
3 こだわって撮る／見る（応用編）

撮影チャンスを逃さない

3秒前からの映像が自動的に記録され、決定的瞬間を逃しません。

1 上に押す

- 操作案内が出る。

2 プレRECを選ぶ

「プレREC ❸ 」を選ぶ → SET を押す。

- 「ON」が出る。
- もう一度 SET を押すと、解除される。
- プレREC設定中は画面に ❸ が出る。

3 押す

- ボタンを押す3秒前からの映像が記録される。

- プレRECを「ON」にしていると、おしらせ音は出ません。
- プレRECの設定直後や撮影終了後から約3秒以内に撮影を始めると、3秒前からの映像は記録されません。

プレRECが解除される場合

- プレRECを設定した後、約5分間操作しなかったとき。
- AUTO/INDEX SEL.ボタン、AUTO/PLAYLISTボタンまたは、 ボタン、FUNC.ボタンを操作したとき。
- ビデオスナップモードをONにしたとき。
- クイックスタート機能を使用したとき。

セルフタイマーを使う ビデオ 写真

家族や仲間たちと一緒に自分を入れて撮影したいときに便利です。
約10秒後に撮影が始まります。

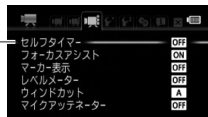
撮る 見る

1 押す

- 動画を撮影しているときは、撮影一時停止中に操作する。

2 セルフタイマーを選ぶ

❶ (メニュー)→ または →「セルフタイマー」を選ぶ→ SET を押す。

❷「入」を選ぶ→ SET を押す。

解除するとき

「切」にする。

3 押す

- 画面に が出る。

ビデオ

3 こだわって撮る/見る(応用編)

START/STOP

4 動画の場合 押す

- 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる。

PHOTO

静止画の場合 浅く押し続け、深く押す

- 浅く押し続けるとピントが合う。
- 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる。

セルフタイマーを解除するには

- 撮影開始までの時間を表示中にSTART/STOPボタン（動画のとき）やPHOTOボタン（静止画のとき）を押す。
- 電源を切る。
- 🎥⇆▶ ボタンを操作したり、AUTO/INDEX SEL.ボタン、AUTO/PLAYLISTボタンを操作する。
- クイックスタート機能を使用する。

明るさを調整する

ビデオ 写真

逆光のとき被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。FUNC.メニューの撮影モードを「打上げ花火」に設定しているときは、使用できません。

撮る 見る

1 上に押す

- 操作案内が出る。

2 露出を選ぶ

「露出 」を選ぶ
→ SET を押す。

- 明るさが固定される。
- 「±0」が出る。明るさによって長さや調整範囲が変わる。
- ズームレバーを動かすと、明るさが変わることがある。

3 露出を調整する

❶ 左右に押す。

❷ 下に押す。

- 調整後の明るさで固定される。

自動の露出調整に戻すとき

SET を2回押す。

MEMO

- 露出を手動で調整後、撮影モードを切り換えると自動調整に戻ります。

ピントを合わせる ビデオ 写真

自動でピントが合いにくい場合は、ピントの調整をします(マニュアルフォーカス)。なお、ズーム操作はピントを合わせる前に行ってください。

1 上に押す

- 操作案内が出る。

2 フォーカスを選ぶ

「フォーカス ◉ 」を選ぶ → SET を押す。

- ピントが固定され、「MF」が出る。

3 ピントを合わせる

❶ 左右に押す。

- メニューの「フォーカスアシスト」を「入」に設定しているときは、画面の中央が拡大される（□ 111）。

❷ 左右に押し続ける。

- 右に押し続けて遠くのものにピントを合わせると、画面に∞が出ます。花火や山などを撮影するときに便利です。

❸ 下に押す。

- 調整後のピントで固定される。

自動のピント合わせに戻すとき

SET を2回押す。

自動でピントが合いにくいときはどんなとき？

強い光が反射

動きが速い

夜景

画面の中央に明暗の差がない

水滴が付いているガラス越しの撮影

顔を検出してきれいに撮る

人物の顔を検出して、自動的にピントや明るさを調整します。複数の人物がいる中で、特定の人を狙って撮影することもできます。

撮る 見る

1 上に押す

- 操作案内が出る。

2 フェイスキャッチを選ぶ

「フェイスキャッチ 」を選ぶ。

- 「ON」が出る。表示されないときは SET を押す。

解除するとき

SET を押す。

3 カメラを人物に向ける

- 主な被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。

複数の人物から特定の人を選ぶとき

左右に押して、特定の人物を選ぶ。

MEMO

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。その場合はフェイスキャッチを「OFF」にしてください。

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れたりしているとき。

フェイスキャッチが使用できない場合

- FUNC.メニューの撮影モードを「夜景」、「ローライト」、「打上げ花火」に設定しているとき。
- シャッタースピードを1/30秒未満にしているとき(メニューの「フレームレート」を「PF24」にしているときは、1/24秒未満)。
- デジタルズームで80倍を超えて拡大(青色のズーム表示)しているとき。

- フェイスキャッチを「ON」にしているとき、シャッタースピードは1/30秒以上になります。メニューの「フレームレート」を「PF24」にしているときは、1/24秒以上になります。

色合いを調整する

ビデオ
写真

太陽光や蛍光灯など、周りの光によって白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなったり、青っぽくなったりします。撮影時の光に応じて「白いものを白く」写すように色を調整できます。撮影モードが**P**、シネモードのときに調整できます。

撮る 見る

1 押す

2 目的のホワイトバランスを選ぶ

❶ 上下に押してAWBを選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

AWB オート	通常はAWB（オート）を選択。自動的に自然な色合いに調整される。
太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択。
電球	電球や電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
セット	上記のモードで対応できない場合は（セット）を選ぶ。さまざまな光の下で、白いものを白く写すように調整するとき。

（セット）を選んだとき

❸白紙、白布を画面いっぱいに写す。

❹ SET を押す。

- （セット）が点滅 → 点灯に変わったら調整完了。調整内容は電源を切っても記憶されている。

3 押す

（セット）を選んで調整するとき

- メニューの「デジタルズーム」を「切」にしてください（ 109）。
- 場所や明るさが変わったときは再調整してください。
- 光によっては、ごくまれに（セット）が点滅→点灯に変わらないことがありますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。

AWB（オート）でうまくいかないとき

次のような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば（セット）で調整をしてください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯のもとでの撮影。
- AWBはAuto（オート） White（ホワイト） Balance（バランス）の略です。

好みの画質にする ビデオ 写真

肌をなめらかに表現してきれいに撮影したり、コントラストに強弱を付けて撮影したりすることができます。撮影モードが **P**、シネマモードのときに設定できます。

撮る 見る

1 押す

2 目的の画質効果を選ぶ

❶ 上下に押して OFF を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

OFF	画質効果切	画質効果を使わないとき。
V	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調。
N	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑える。
LS	ソフト	輪郭の強調を抑える。
SD	美肌	肌をなめらかに表現して、きれいに見せる。

3 押す

場面の切り換えと特殊効果 ビデオ 写真

映像の始まりと終わりを演出するフェーダーや、色を変えるエフェクトを使って、思い出のシーンや静止画にひと工夫加えてみましょう。静止画のときは「シロクロ」と「セピア」のみ使用できます。

フェーダー

映画のようにシーンの始まりと終わりを演出します。

F1 オートフェード

F2 ワイプ

エフェクト

シロクロやセピアにしてノスタルジックな雰囲気を出すことができます。

E1 シロクロ

■ 効果を選ぶ

1 押す

2 目的のデジタルエフェクトを選ぶ

❶ 上下に押して を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

3 押す

■ 効果をつけて撮影する

1 デジタルエフェクトを有効にする

❶ 上に押す。

- 操作案内が出る。

❷「D.エフェクト 」を選ぶ→ SET を押す。

- 緑色に変わる。

デジタルエフェクトを無効にするとき

SET をもう一度押す。

2 **動画の場合** 押す

- 撮影一時停止中(●❚❚)にフェーダーを使うと、映像と音声が徐々に出る。撮影中(●)に使うと、映像と音声が徐々に消えて、撮影一時停止になる。

静止画の場合 浅く押し続け、深く押す

- 浅く押し続けるとピントが合う。
- 静止画が「シロクロ」または「セピア」で記録される。

フェーダーが使用できない場合

- ビデオスナップモードのとき
- プレRECが「ON」のとき

画面の表示を切り換える

ビデオ
写真

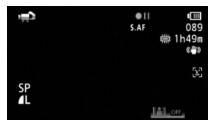
画面に表示する撮影情報などを切り換えられます。

撮る 見る

DISP.

1 押す

- 表示される撮影情報は、押すたびに切り換わる。

例： 動画撮影中の場合

すべて表示

●や●❚❚は表示される。

表示なし

表示される内容や切り換わりかた

撮影中	すべて表示 → 表示なし*
動画再生中	すべて表示 → メニューの「データコード表示」の設定情報を表示 → 表示なし
静止画再生中	すべて表示 → 記録枚数、日時、画質などを表示 → 表示なし

* 操作案内やメニューで設定したマーカー、レベルメーターは表示される。

データコードとは？

日時やカメラデータ（シャッタースピードやしぼり）などの撮影情報を「データコード」といいます。データコードはメニューの「データコード表示」で切り換えられます（□ 113）。

録音時の音量を変える

ビデオ
写真

内蔵マイクや外部マイクの録音時の音量（マイクレベル）を手動で調整できます。

撮る 見る

1 上に押す

- 操作案内が出る。

2 マイクレベルを選ぶ

「マイクレベル」を選ぶ→ SET を押す。

- レベルメーターとオレンジ色のバーが出る。

3 左右に押してマイクレベルを調整する

- レベルメーターが-12dBより右の位置で時々点灯するように調整する。

4 下に押す

- 録音レベルが固定され、操作案内が消える。

自動調整に戻すとき

SET を2回押す。

- 「A」が表示される。

■ レベルメーターを表示する

レベルメーターを常に表示して、撮影中に録音時の音量を確認できます。

1 押す

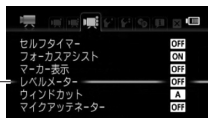
2 レベルメーターを表示する

❶ （メニュー）→ →「レベルメーター」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 「入」を選ぶ→ SET を押す。

3 押す

- レベルメーターが出る。

録音時の音量を変える

- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- レベルメーターが適切に表示されているのに音がひずむときは、メニューの「マイクアッテネーター」を「入」にしてください（□ 111）。
- マイクレベルを調整したり、「マイクアッテネーター」を使ったりするときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします（□ 95）。

ヘッドホンを使う ビデオ 写真

撮影時や再生時にヘッドホンで音声を聞くことができます。

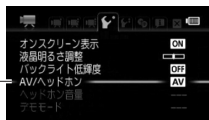
■ ヘッドホンで音声を聞きながら撮影/再生する

(ヘッドホン)端子は、AV OUT端子と兼用ですので、ヘッドホンを使うときは、まずメニューで切り換えます(114)。「こだわりオート」のときはあらかじめ切り換えておいてください。

撮る 見る

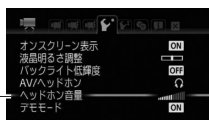
1 押す

2 ヘッドホンを選ぶ

❶ (メニュー)→ →「AV/ヘッドホン」を選ぶ→ SET を押す。

❷「ヘッドホン」を選ぶ→ SET を押す。

3 ヘッドホン音量を調整する

❶「ヘッドホン音量」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 左右に押して音量を調節する→ SET を押す。

4 押す

- 画面に が出る。

■ 再生中にヘッドホン音量を調整する

撮る **見る***

* 静止画の場合、スライドショーで音楽と一緒に再生しているときのみ調整できます。

1 再生中 上に押す

● 操作案内が出る。

2 音量を調整する

❶ を選ぶ。

❷ 左右に押して音量を調整する。

ご注意

● ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。

● 画面に が出ていないときは、ヘッドホンを接続しないでください。雑音によって耳を痛める恐れがあります。

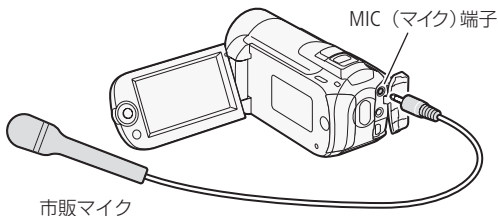
MEMO

● 再生時に設定した「AV/ヘッドホン」は、 ボタンを押すと「AV」に戻ります。

外部マイクを使う　ビデオ　写真

とらえたい音声を確実に記録したいときや音を録る範囲を指定したいときなどは、目的に応じた市販のマイクを使用することで、音の表現がより豊かになります。

撮る　見る

■ MIC（マイク）端子に接続する

- 静かな場所で撮影するときに、内蔵マイクが本体の振動をひろってしまうことがあります。このような場合は、外部マイクの使用をおすすめします。
- 市販のマイクを使うときは、電源内蔵タイプのコンデンサーマイクをお使いください。端子の直径が3.5mmのステレオマイクであれば、ほとんどが使用できます。音量は内蔵マイクと異なります。
- 外部マイク接続中、メニューで設定した「ウィンドカット」は自動的に「切」になります。
- 音声がひずむときは、メニューの「マイクアッテネーター」を「入」にしてください。それでもひずむときは、マイクレベルを調整してください（📖 92）。

お好みのコマから再生する ビデオ 写真

1シーンの中からお好みのコマを選んで、選んだコマから再生できます。コマの一覧は、一定の時間ごとのコマを表示するタイムラインと、顔が検出されたコマを時間順に表示する顔タイムラインとがあります。

撮る 見る

■ 時間単位のコマ一覧から再生する（タイムライン）

1 押す

- タイムライン画面が出る。

2 左右に押してコマを選ぶ

他のシーンを見るとき

上下に押して現在のシーンを選び、左右に押す。

次／前の5つのコマを表示するとき

上下に押してコマ位置バーを選び、左右に押す。

コマの間隔を変えるとき

FUNC.ボタンを押す→左右に押して間隔を変える→ SET を押す。

インデックス画面に戻るとき

DISP.ボタンを押す。

3 押す

- 再生が始まる。

■ 人物ごとのコマ一覧から再生する（顔タイムライン）

1 顔ジャンプの画面でシーンを選ぶ

59ページの操作1～3を行う。

2 押す

- 顔タイムライン画面が出る。

3 左右に押してコマを選ぶ

他のシーンを見るとき

上下に押して現在のシーンを選び、左右に押す。

次／前の5つのコマを表示するとき

上下に押してコマ位置バーを選び、左右に押す。

顔ジャンプ画面に戻るとき

DISP.ボタンを押す。

4 押す

- 再生が始まる。

- 顔タイムラインでは、1シーンに対して最大100コマまで表示できます。

ビデオスナップを再生する

ビデオスナップ

撮りためたビデオスナップの映像を好きな音楽といっしょに再生*すると、短編映画のような映像を楽しむことができます。携帯オーディオプレーヤーなどとつないで、好きな音楽といっしょに再生することもできます。

* このとき、映像に記録されている音声は再生されません。

■ ビデオカメラ内の音楽と一緒に再生する

撮る 見る

1 押す

- ビデオスナップのシーンだけのインデックス画面が出る。

2 押す

3 選曲する

❶ 左右に押して♫（選曲）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して曲を選ぶ。

- SET を押すと試聴できる。もう一度押すと停止する。
- 「切」を選ぶと、撮影時の音声が再生される。

お好みのコマから再生する／ビデオスナップを再生する

曲を消すとき

❶ ❷の後に右に押して [icon] を選ぶ→ (SET) を押す。
❷ 「はい」を選ぶ→ (SET) を押す。

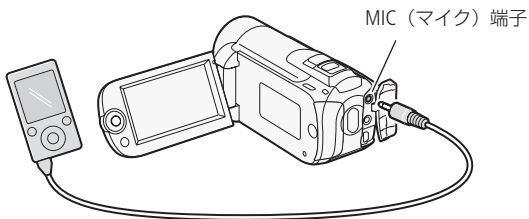
4 2回押す

5 押す

- 再生が始まる。

■ オーディオプレーヤーの音楽と一緒に再生する

お気に入りのプレイリストに好きな音楽を重ねて、より印象的な映像にして楽しめます。

プレーヤーと接続する

* 市販のφ3.5mmステレオミニケーブルでカメラにプレーヤーを接続する。

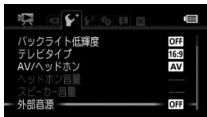
操作する

1 押す

- ビデオスナップのシーンだけのインデックス画面が出る。

2 押す

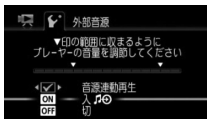
3 外部音源を選ぶ

❶ （メニュー）→ → を押す。
→「外部音源」
→「入 」を選択する。

4 音量を調節する

❶ プレーヤーの音楽を再生する。
- 現在の音量がレベルメーターに表示される。

❷ レベルメーターの表示が2つの▼の間に収まるように、プレーヤーの音量を調整する。

プレーヤーの音楽と連動して再生するとき

プレーヤーの音楽を停止し、左右に押して「音楽連動再生」にチェックを入れる→ を押す。

5

「音楽連動再生」のチェックを入れたとき

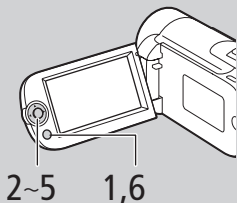
- プレーヤーを再生する。
- 選択しているシーンから自動で再生される。
- プレーヤーの音楽が終了すると、映像は自動的に再生一時停止になる。音楽が始まると、再生が再開される。

「音楽連動再生」のチェックを外したとき

- 再生したいシーンを選択する。
- 映像と音楽の停止は連動しない。

- 本機能で複製した音楽著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。責任を持ってご使用ください。

- プレイリストに登録すると、見たいシーンだけを選んで、順番を入れ換えて再生できます（ 123）。
- メモリーを初期化すると、パソコンから転送した音楽が消去されます。なお、ご購入時、内蔵メモリー*に保存されていた音楽は消去されません。* HF R11/HF R10のみ
- 音楽はパソコンを使って付属の「フォトアプリケーションVer. 34/音楽データディスク」から転送できます。その際、再生する動画と同じメモリーに保存してください。詳しくはImageMixer 3の取扱説明書（PDF）をご覧ください。
- ビデオスナップ／プレイリストのシーンやスライドショーの再生時に、プレーヤーなど外部の音楽と連動して再生できます。
- 外部機器の音量が小さすぎる、外部機器からの音声信号にノイズが入るなどによって、映像が音楽に連動して再生されないことがあります。
- 据え置き型のCDプレーヤーなど、機器側で音量の調節ができない場合、音量が大きすぎるときは、自動的に音量を下げます。

メニューの設定を変える

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更できます。「こだわりオート」にすると、一部の機能を除いてご購入時の設定になります。

例「おしらせ音」を「切」に設定する

1 押す

2 上下に押して (メニュー)を選び、SET を押す

- 再生時は左右に押す。

3 左右に押して項目を選ぶ

4 上下に押して機能を選び、SET を押す

5 上下に押して設定内容を選び、SET を押す

6 押す

- FUNC.ボタンを1秒以上押してもメニューを表示できます。
- FUNC.ボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

■ メニューの紹介

撮影／再生のモードによって設定できる機能が異なります。設定できる機能は表中に●で示しています。ご購入時は太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は 🕮 欄のページかまたは欄外に説明があります。設定のしかたについては「メニューの設定を変える」（🕮 105）をご覧ください。

カメラ設定1

機能	設定内容	撮影	再生	🕮
HF R11/HF R10 動画記録	**内蔵メモリー**、カード	●		32
HF R11/HF R10 静止画記録	**内蔵メモリー**、カード	●		32
HF R11/HF R10 リレー記録	ON 入、OFF **切**	●		33
フレームレート	60i **標準（60i）**、PF30 PF30、PF24 PF24	●		–
x.v.Color	ON 入 color、OFF **切**	●		–
ビデオスナップ記録時間	2sec 2秒、4sec **4秒**、8sec 8秒	●		76

フレームレート

撮影方式を選びます。

60i	通常はこの方式を使う。
PF30	映像を30コマ/秒で送る方式で撮影する。インターネットに映像を掲載するときなどに便利。
PF24	映画と同じように映像を24コマ/秒で送る方式で撮影する。「シネマモード」(📖 75)と組み合わせると、より映画の雰囲気に近い映像になる。

- PF30やPF24に設定した場合、静止画は記録できません。

x.v.Color

広い色空間で動画を記録。目で見た色に近い映像を再現します。

- x.v.Colorに対応したテレビにHDMIケーブルでつないで再生するときのみ、「入」にして撮影してください。x.v.Color非対応のテレビで再生すると、色が正しく表現されないことがあります。

カメラ設定2

機能	設定内容	撮影	再生	📖
デジタルズーム	OFF **切**、80x 80x、400x 400x	●		–
ズームスピード	VAR **可変速**、≫ スピード3 ≫ スピード2、> スピード1	●		47
AFモード	S.AF **ハイスピードAF**、AF ノーマルAF	●		–
手ブレ補正（動画時のみ）	ダイナミック、**スタンダード**、OFF 切	●		–
フリッカー低減	OFF **切**、50Hz 50Hz、60Hz 60Hz	●		–
オートスローシャッター	ON **入**、OFF 切	●		–
自動逆光補正	ON **入**、OFF 切	●		–

デジタルズーム

デジタルズームの設定を選びます。

- デジタルズームを設定したときは、光学ズーム領域を越えると、自動的にデジタルズームになります。
- デジタルズーム領域では映像をデジタル処理するため、拡大するほど映像が粗くなります。
- ズーム表示は、20倍から80倍までは水色、80倍から400倍までは青色になります。

AFモード

ピントが合う速さを選びます。

ハイスピードAF	遠くの被写体と近くの被写体を交互に撮る、動いている子供を追いかけて撮る、などの状況でも素早くピントを合わせる。
ノーマルAF	ゆっくりと安定したスピードでピントを合わせる。

手ブレ補正

手ブレの少ない安定した画面で撮影できます。撮影のしかたによって補正方式を選べます。

ダイナミック	歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど効果が大きい。
スタンダード	静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。
切	三脚などを使って撮影するとき。

- 手ブレが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- 手ブレ補正により背景の動きに不自然さを感じる場合には「スタンダード」または「切」を選択してください。

フリッカー低減

- 蛍光灯の下で撮影するときに、ちらついて見えることがあります。その場合は「50Hz」または「60Hz」に設定することでちらつきを低減することができます。
- 撮影モードが「P（プログラムAE）」のときに設定できます。

オートスローシャッター

明るさが不足する場所（暗めの室内など）で撮影する場合、シャッタースピードを自動的に遅くして、より明るい映像を記録します。

- 1/30秒までのスローシャッターに設定されます。なお「フレームレート」（□ 107）が「PF24」のときは1/12秒に、「PF30」のときは1/15秒になります。
- 撮影モードが「**P**（プログラムAE）」のときに設定でき、AUTO/ INDEX SEL.ボタン、AUTO/PLAYLISTボタンを操作しても設定は変わりません。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 画面に （手ブレ警告）が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。

自動逆光補正

窓際や水辺の人物を撮るときなど、逆光下での撮影の際、明るさを補正して、被写体を明るく撮影できます。

カメラ設定3

機能	設定内容	撮影	再生	□
セルフタイマー	ON 入 、OFF **切**	●		78
フォーカスアシスト	ON **入**、OFF 切	●		–
マーカー表示	OFF **切**、水平（白）、水平（グレー） グリッド（白）、グリッド（グレー）	●		–
レベルメーター	ON 入、OFF **切**	●		92
ウィンドカット	A **オート**、OFF 切	●		–
マイクアッテネーター	ON 入 ATT 、OFF **切**	●		–

メニューの設定を変える

フォーカスアシスト

マニュアルフォーカス（📖 81）でピントを調整しやすくするために、画面の中央を拡大表示します。

- 記録する動画には影響しません。撮影を開始するか、4秒経過すると拡大表示は解除されます。

マーカー表示

画面に水平線や格子状の線（グリッド）を表示します。被写体の水平・垂直を確認しながら撮影できます。

- 水平線やグリッドは、撮影した動画／静止画には表示されません。

ウィンドカット

屋外で撮影するときに風の影響を受けて発生する、「ボコボコ」というノイズ音を自動的に低減します。

- 風の音と一緒に低音の一部も低減されます。風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは「切」を選びます。

マイクアッテネーター

録音した音声がひずむときに使います。

- マイクレベル（📖 92）を適切に設定しているのに録音した音声がひずむときは「入」にします。「入」にすると画面に **ATT** が出ます。

再生設定

機能	設定内容	動画再生	静止画再生	📖
HF R11/HF R10 静止画記録	**内蔵メモリー**、カード	●		32
あとからフォト画質	スーパーファイン、**ファイン**、ノーマル	●		149
ビデオスナップ記録時間	2sec 2秒、4sec **4秒**、8sec 8秒	●		128
データコード表示	日付、時刻、**日付&時刻**、カメラデータ	●		–
USB接続指定	DVDライター、パソコン／、**接続時に選択**	●	●	–
DVDライター書き込み指定	**全シーン**、未作成シーン	●		177
スライドショーエフェクト	OFF 切、クロスフェード、**スライド**		●	146

データコード表示

日付や時刻、カメラデータ（しぼり値やシャッタースピード）など、表示する撮影情報を選びます。

USB接続指定

USBケーブルで本機と他の機器をつなぐ場合、相手機の種類をあらかじめ選びます。

DVDライター	DVDライターDW-100（別売）とつなぐとき。
パソコンなど	パソコンやプリンターなどDVDライターDW-100以外の機器とつなぐとき。
接続時に選択	USBケーブルをつないだときに、その都度、相手機の種類を選ぶ。つなぐ相手機の種類が常に同じではないとき。

システム設定1

機能	設定内容	撮影	再生	📖
オンスクリーン表示	ON 入、OFF 切	●		–
液晶明るさ調整	(スライダー)	●	●	–
バックライト低輝度	ON 入、OFF 切	●	●	–
テレビタイプ *[1]	4:3 ノーマルテレビ、16:9 ワイドテレビ		●	–
AV/ヘッドホン	AV AV、ヘッドホン	●	●	95
ヘッドホン音量	、OFF	●	●	95
スピーカー音量	、OFF		●	51
外部音源	ON 入、OFF 切		●	103
デモモード	ON 入、OFF 切	●		–

*[1] HDMIケーブルで他の機器に接続している場合は、設定できません。

オンスクリーン表示

液晶画面に表示される情報を、本機に接続したテレビの画面に表示します。

液晶明るさ調整

液晶画面の明るさを調整します。

- ジョイスティックを左右に押して、調整します。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。

バックライト低輝度

液晶画面の明るさを暗くします。暗所での撮影など、周囲に配慮したいときなどに使います。

- DISP.ボタンを約2秒以上押すと「切」にできます。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。
- 「切」にすると、低輝度に設定する前の明るさに戻ります。

テレビタイプ

ステレオビデオケーブルSTV-250N（付属）でテレビにつないで見るときに、接続するテレビに合わせて選びます。映像の縦・横の比率を正しく再生します。

4:3 ノーマルテレビ	ノーマルテレビに接続するときに選ぶ。
16:9 ワイドテレビ	ワイドテレビに接続するときに選ぶ。

- 「4:3　ノーマルテレビ」に設定しているとき、16:9で撮影した映像を再生すると、画面に表示される映像が小さくなります。

デモモード

機能紹介(デモモード)の映像を画面に表示します。

- コンパクトパワーアダプター使用時に、カードが入っていない状態で約5分経過するとデモモードとなり、機能紹介が始まります。デモモードにしない場合は、「切」に設定します。
- なんらかの操作をするとデモモードは終了します。

システム設定2

機能	設定内容	撮影	再生	📖
おしらせ音	**大**、小、切	●	●	–
パワーセーブ	**入**、切	●	●	–
クイックスタート	切、**10分**、20分、30分	●		–
HDMI機器制御*1	入、**切**	●	●	–
HF R11/HF R10 初期化 / HF R100 初期化	HF R11/HF R10 内蔵メモリー、カード、キャンセル 初期化、完全初期化、キャンセル	●	● *2	34
静止画番号	オートリセット、**通し番号**	●	●	–
Firmware (静止画時のみ)	–		●	–
設定初期化	**いいえ**、はい	●	●	–
Eye-Fi通信	**オート**、切	●	●	201

*1 HDMIケーブルで他の機器に接続している場合は、設定できません。

*2 動画再生時：オリジナルのときのみ。

おしらせ音

電源を入れたり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。

パワーセーブ

バッテリー使用時、約5分間何も操作しないと、節電のために電源が切れます。

- 電源が切れる約30秒前に、「❗ オートパワーオフ」が表示されます。
- スタンバイ中は、メニューの「クイックスタート」で設定した時間が経過すると電源が切れます。

クイックスタート

スタンバイ中、設定した時間が経過すると節電のために電源が切れます。

- 「切」にすると、クイックスタート機能は使用できなくなります。

HDMI機器制御

HDMI機器制御機能（HDMI CEC*）対応のテレビとHDMIケーブルでつないだとき、テレビとビデオカメラの操作を連動させることができます。

- 「入」に設定した後にテレビにつなぐと、テレビ側の入力が自動的にビデオカメラを接続しているHDMI端子に切り換わり、テレビのリモコンで映像を再生できます。リモコンの▲／▼／◀／▶のボタンを押してシーンまたは静止画を選び、決定ボタンを押すと再生します。
- テレビによってはHDMI機器制御機能を有効にする必要があります。詳しくはテレビの説明書をご覧ください。
- HDMI機器制御機能に対応したテレビであっても、正しく操作できないことがあります。その場合は、本機の「HDMI機器制御」を「切」にして、ビデオカメラ側で操作して再生してください。
- HDMI機器制御機能は、本機が動画／静止画の見るモードの場合に使用できます。撮影時に使用すると、本機が撮影中でも、テレビの電源OFFに連動して、ビデオカメラの電源が切れることがあります。

- 同時に接続するHDMI機器は、3台以内にすることをおすすめします。

* HDMI CECとは、HDMI規格で決められた相互機器制御機能のことです。

静止画番号

個々の静止画に付けられる番号（静止画番号）の付け方を選びます。撮影された静止画は、自動的に101-0101、101-0102、101-0103のように順番に番号が付けられ、メモリー内のフォルダーに保存されます。

オートリセット	初期化されたメモリーに記録する場合、静止画番号は常に101-0101から始まる。メモリー内にすでに静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。
通し番号	静止画番号は、最後に記録した静止画の続き番号から始まる。ただし、メモリーに記録されている静止画番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

- 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。
- 1つのフォルダーには100枚までの静止画を保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。
- 静止画番号は、メモリー内に作られるフォルダーの番号（上3桁）と静止画固有の番号（下4桁）を表しています*。

  * 静止画番号の範囲は、上3桁が101～998、下4桁が0101～9900です。
- 静止画が記録されたカードをパソコンで見ると、静止画番号が「101-0107」の静止画は「DCIM￥101CANON」というフォルダーの中に「IMG_0107.JPG」というファイル名で表示されます。

設定初期化

本機をご購入時の設定に戻します。

Firmware

ビデオカメラの、現在のバージョンを確認できます。

- 通常は灰色で表示されます。

言語・日時設定

機能	設定内容	撮影	再生	📖
言語	**日本語**、ENGLISH	●	●	–
エリア/サマータイム	–	●	●	26
日付/時刻	–	●	●	27
日時スタイル	**Y.M.D AM/PM (2010.1.1 AM12:00)**、 Y.M.D 24H (2010.1.1 0:00) M.D,Y AM/PM (Jan.1,2010 12:00AM) M.D,Y 24H (Jan.1,2010 0:00) D.M.Y AM/PM (1.Jan.2010 12:00AM) D.M.Y 24H (1.Jan.2010 0:00)	●	●	–
カレンダー指定（動画時のみ）	土曜、**日曜**、月曜		●	–

言語

画面に表示される言語を変えます。

日時スタイル

日時の表示のしかたを変えます（印刷時を含む）。

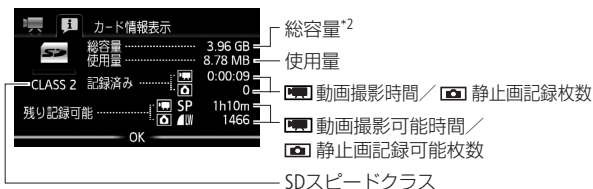
カレンダー指定

カレンダー表示の開始曜日を変更できます。

情報表示

機能	設定内容	撮影	再生	📖
HF R11/HF R10 内蔵メモリー情報表示	–	●	●	–
カード情報表示	–	●	●	–
HDMI出力状態	–	●	●	–

内蔵メモリー情報表示 HF R11/HF R10 ／ カード情報表示

内蔵メモリーやカードの総容量/使用量、動画の撮影時間／撮影可能時間*1、静止画の記録枚数／記録可能枚数*1を確認できます。カードの場合はSDスピードクラスも確認できます。

カード情報表示の画面を載せています。

*1 現在設定している動画の録画モードや静止画の画質／サイズをもとに算出します。
*2 実際に使用できる内蔵メモリーの容量は、主な仕様に記載の容量より若干少ないことがあります。

HDMI出力状態

現在のHDMI出力端子の出力状態を確認できます。

シーンを分割する

ビデオ
写真

撮影したシーンを分割することで、不要なシーンを消すことができます。オリジナル(撮影した元の動画)のシーンのみ分割できます。

撮る 見る

1 分割するシーンを選ぶ

2 押す

3 分割を選ぶ

左右に押して (分割)を選ぶ→ SET を押す

- 再生が始まる。

4 分割する

❶ 分割する位置を決める。

⏮/⏭ :シーンの先頭または最後へ。

◀◀/▶▶ :早戻し/早送り(再生中)。

◀II / II▶ :逆コマ送り/コマ送り(一時停止中)。

▶ :再生

■ :停止

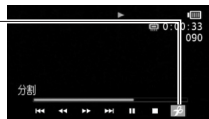
分割する位置で II を押して一時停止する。

中止するとき

■(停止)またはFUNC.ボタンを押す。

❷ 左右に押して ✂（分割）を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- 分割した元のシーンの次に挿入される。

- 分割する位置を決めるときのコマ送り／逆コマ送りの間隔は0.5秒です。
- 一時停止した位置で分割できないことがあります。その場合はコマ送りなどで位置を変えてください。
- 再生時、分割したシーンのつなぎ目で映像と音声が乱れることがあります。

分割できない場合

- 約3秒未満のシーンのとき。
- シーンの始めまたは終わりから約1秒以内の位置のとき。
- ビデオスナップのシーンのとき。
- 選択設定されているシーンのとき。
- 付属のImageMixer 3で編集して本機に書き戻したシーンのとき。

プレイリストを作る

ビデオ
写真

プレイリストとは、再生（プレイ）したい順にシーンを並べた一覧（リスト）のことです。お好みのシーンを集めて自分だけのアルバムができます。
プレイリストには、オリジナル（撮影した元の動画）またはビデオスナップのシーンを追加できます。

撮る 見る

1 ビデオスナップのシーンから作るとき 押す

2 シーンを選ぶ

- あらかじめ選んだシーンを追加する場合は、「選択」で選ぶ（□ 62）。
- 撮影したある日のすべてのシーンを追加する場合は、その日のシーンの内の1つを選ぶ。

3 押す

4 （プレイリスト追加）を選び、SET を押す

5 項目を選ぶ

❶「この日の全シーン」、「1シーン」または「選択したシーン」を選ぶ→ SET を押す

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- 現在インデックス画面を表示しているメモリーのプレイリストに追加される。
- 追加したシーンを確認するときは、55ページの **プレイリストから選ぶ** を操作する。

- プレイリストのシーンを編集しても、オリジナルデータは変わりません。
- 付属のImageMixer3で編集して本機に書き戻したシーンは、プレイリストに追加できません。
- 内蔵メモリーとカードの両方のシーンを同じプレイリストに追加するときは、まず追加したい内蔵メモリーのシーンをカードにコピーし（📖 130）、次にカードのシーンを選んでプレイリストに追加します。（HF R11/HF R10のみ）

プレイリストのシーンを消す

プレイリスト内の不要なシーンを消去できます。消去は、1シーンごとまたは全シーンまとめて行うことができます。

撮る **見る**

1 プレイリストのインデックス画面を表示させる

- 55ページの **プレイリストから選ぶ** を操作する

2 1シーンだけ消すとき 消すシーンを選ぶ

3 押す

4 シーンを消す

❶ 左右に押して 🗑（消去）を選ぶ→ SET を押す。

❷「全シーン」または「1シーン」を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき

SET（中止）を押す。「全シーン」を選んでいるときは操作を中止できる。一部のシーンは消去される。

❹ SET（OK）を押す。

5 押す

プレイリストのシーンを並べ換える

プレイリスト内のシーンをお好みの順に並べ換えられます。

撮る **見る**

1 プレイリストのインデックス画面を表示させる

- 55ページの **プレイリストから選ぶ** を操作する

2 シーンを選ぶ

3 押す

4 (移動)を選び、SET を押す

5 移動する位置を選ぶ

❶ バーを移動する位置に動かす→ SET を押す。

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

移動前の位置　移動先の位置

プレイリストのシーンを音楽と一緒に再生する

プレイリスト内のシーンやプレイリスト内のビデオスナップを音楽と一緒に再生*できます。携帯オーディオプレーヤーなどとつないで、好きな音楽といっしょに再生することもできます。

* このとき、映像に記録されている音声は再生されません。

撮る 見る

1 プレイリストのインデックス画面を表示させる

- 55ページの プレイリストから選ぶ を操作する

2 ビデオカメラ内の音楽と一緒に再生するとき

選曲して再生する

- 101ページの操作2～5を行う。

オーディオプレーヤーの音楽と一緒に再生するとき

プレーヤーをつないで再生する

- 102ページを参照して、本機とプレーヤーを接続し、操作2～5を行う。

映像からビデオスナップを作る

撮影した映像から約4秒間*のビデオスナップを作ることができます。

* 記録時間は、メニューの「ビデオスナップ記録時間」で2秒、4秒、8秒のいずれかに変更できます（□ 113）。

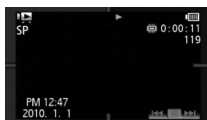
1 シーンを選ぶ

- ビデオスナップを作成するシーンを選ぶ。

2 (SET) を押す

- 再生が始まる。

3 押す

- 4秒間がコピーされて、ビデオスナップになる。その後再生一時停止になる。
- ビデオスナップ作成中は青い枠が動き、ビデオスナップを作った後はシャッターを切るように画面が一度黒くなる。

- 再生中のみビデオスナップを作成できます。再生一時停止中は作成できません。
- 元のシーンと同じメモリーに保存されます。（HF R11/HF R10のみ）

ビデオスナップを作成できない場合

- 約1秒未満のシーンのとき。
- 付属のImageMixer 3で編集して本機に書き戻したシーンのとき。

- 再生中のシーンがビデオスナップのときは、作成元となるシーンの記録時間によってはビデオスナップを作成できないことがあります。
- シーンの終わりから約1秒以内の位置で作成すると、次のシーンの先頭からのビデオスナップになります。
- 再生中のシーンから作ったビデオスナップは、再生時、シーンのつなぎ目で映像と音声が乱れることがあります。

シーンをコピーする

HF R11 / HF R10

内蔵メモリーからカードにのみ動画をコピーできます。1つのシーン、あらかじめ選んだシーン、撮影したある日のすべてのシーンまたは記録されたすべてのシーンをコピーできます。プレイリストの場合は、すべてのシーンをまとめてコピーする方法のみになります。静止画のコピーについては、154ページをご覧ください。

撮る 見る

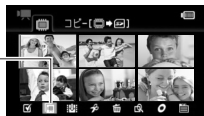
1 コピー元となる内蔵メモリーのインデックス画面を出す（□ 54）

2 シーンを選ぶ

- あらかじめ選んだシーンをコピーする場合は、「選択」で選ぶ（□ 62）。
- 撮影したある日のすべてのシーンをコピーする場合は、その日のシーンの内の1つを選ぶ。
- 全シーンをコピーするときは操作2は不要。

3 押す

4 コピーする

❶ 左右に押して （コピー［ ➡ ］）または （コピー［ ➡ ］）を選ぶ➡ SET を押す。

❷ 上下に押して「全シーン」、「この日の全シーン」、「1シーン」または「選択したシーン」を選ぶ → SET を押す。

- プレイリストのときはこの操作は不要。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき

SET（中止）を押す。

❹ SET（OK）を押す。

5 押す

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - AUTO/ INDEX SEL.ボタンを操作しない。
  - ボタンを押さない。

コピーできない場合

- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているとき。
- 付属のImageMixer 3で編集して本機に書き戻したシーンのとき。

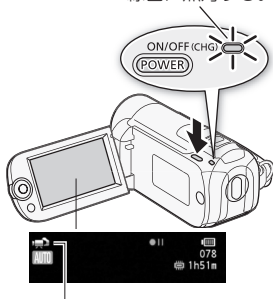
Chapter 3

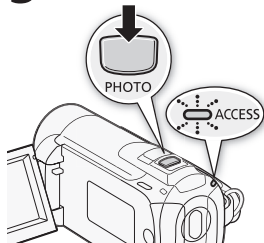
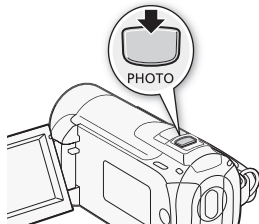
写真

写真を撮る

静止画は内蔵メモリー*とカードに記録できます。

* HF R11/HF R10のみ

1 ONにする

(□ 37)または (□ 37)が表示される。

- カードに記録するとき(□ 32)。
- Eye-Fiカードを使うときは、事前に「ご注意」(□ 135)を確認してください。

2 浅く押し続ける

- ピントを調整し、終わると●が緑色になって緑色の枠が出る。

3 深く押す

- ACCESSランプが点滅。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - ■ カードカバーを開けない。
  - ■ 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - ■ AUTO/ INDEX SEL.ボタン、AUTO/PLAYLISTボタンを操作しない。
  - ■ 🎥⇆▶ ボタンを押さない。
- Eye-Fiカードを記録先に設定して静止画を記録すると、通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（🕮 202）。

静止画を記録できない場合

- ■ メニューの「フレームレート」の設定をPF30またはPF24にしているとき。
- ■ デジタルズーム領域のとき。
- ■ メニューの「フリッカー低減」の設定を「50Hz」または「60Hz」にしているときは、撮影時のシャッタースピードはオートになります。

画質やサイズを選ぶ ビデオ 写真

静止画のサイズは、高画質で撮るときは大きく、枚数を多く撮るときは小さく設定しましょう。LWを選ぶと、ワイド画面で撮影できます。

撮る 見る

1 押す

2 サイズを選ぶ

❶ 上下に押して◢Lを選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ→ SET を押す。

記録できる枚数の目安

3 画質を選ぶ

いずれかを選ぶ。

4 押す

- 画質やサイズ、撮影条件や被写体により、記録できる静止画の枚数は異なります。
- AUTO/ INDEX SEL.ボタン、AUTO/PLAYLISTボタンを操作しても、設定した画質やサイズは保持されます。

写真

2 簡単に見る（基本編）

カードに記録できる枚数の目安

サイズ	LW 1920×1080			L 1600×1200			S 640×480		
画質	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
128MB	50	75	150	55	80	160	340	490	890
512MB	315	470	925	340	505	995	2070	2995	5390
1GB	670	1000	1970	720	1075	2115	4395	6350	11430*

* 画面には「9999」と出ますが、実際は表の枚数の目安まで記録できます。

スーパーファイン：スーパーファイン、ファイン：ファイン、ノーマル：ノーマル

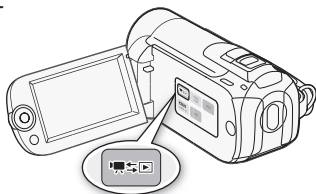
静止画サイズによって用途が異なります。

LW　：ワイドサイズの用紙に印刷するときやワイドテレビで見るとき
L　：Lサイズまたはポストカードサイズで印刷するとき
S　：電子メールで添付するときやWeb用

写真を見る

ビデオ 写 真

撮る 見る

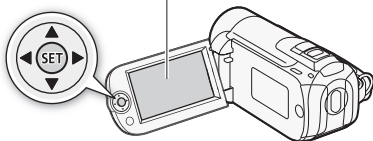
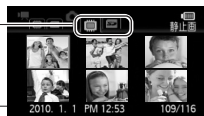
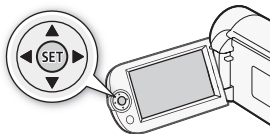
1 押す

- 静止画の1枚表示画面が出たときはズームレバーをW側に押す。

2 静止画のインデックス画面を表示する

❶ 上に押す。

❷ 左右に押して（静止画）の*または を選ぶ。

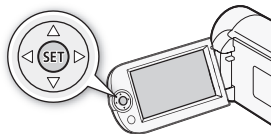
* HF R11/HF R10のみ

❸ 下に押す。

3 静止画を選ぶ

4 SET を押す

- 静止画が再生される（1枚表示画面）。

写真

2 簡単に見る（基本編）

■ インデックス画面を出す

静止画を1枚表示にしているときにインデックス画面を出す方法です。

W - T

1 W側に押す

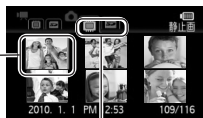
操作案内でインデックス画面を出すとき

❶ ジョイスティックを上に押して、操作案内を出す。

❷ ▦ を選ぶ→ (SET) を押す。

- インデックス画面に切り換わる。

2 静止画を選ぶ

- オレンジ色の枠を、再生したい静止画に合わせる。

インデックス画面を切り換えるとき（📖 52）

インデックス画面をページごと送るとき

❶ 下に押す。

- スクロールバーが出る。

❷ 左右に押して、インデックス画面を選ぶ。

❸ 上に押す。

- 1枚の静止画の上に枠が出る。

1枚表示画面に戻すとき

(SET) を押す。

■ 10枚100枚ごとに探す

静止画を10枚または100枚ごとに飛ばして表示できます。

1 上に押す

- 操作案内が出る。

2 ジャンプを選ぶ

を選ぶ→ SET を押す。

3 左右に押す

- 10枚ごとにジャンプする。
- 上下に押すと、押すたびに10枚ジャンプと100枚ジャンプが切り換わる。
- SET を押すと終了する。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - ■ カードカバーを開けない。
  - ■ 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - ■ AUTO/ INDEX SEL.ボタン、AUTO/PLAYLISTボタンを操作しない。
  - ■ ボタンを押さない。
- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  - ■ 本機以外の製品で記録したとき。
  - ■ パソコンで作成や加工をしたとき。
  - ■ パソコンでファイル名を変更したとき。

写真を消す

ビデオ 写真

1枚の静止画、あらかじめ選んだ静止画または記録されたすべての静止画をまとめて消すことができます。

撮る 見る

■ 1枚の静止画を再生中に消す

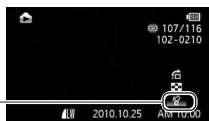
1 静止画を選ぶ

2 上に押す

- 操作案内が出る。

3 静止画消去を選ぶ

❶ を選ぶ→ SET を押す。

❷ 左右に押して「はい」を選ぶ→ SET を押す。

■ 1枚の静止画、選んだ静止画、すべての静止画をまとめて消す

1 インデックス画面で静止画を選ぶ

- あらかじめ選んだ静止画を消す場合は、「選択」で選ぶ（📖 62）。
- すべての静止画を消す場合は、操作1は不要。

2 押す

3 消去を選ぶ

❶ 左右に押して 🗑（消去）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して「すべての静止画」、「1枚」または「選択した静止画」を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき

SET（中止）を押す。「1枚」以外を選んだときは操作を中止できる。

❹ SET（OK）を押す。

4 押す

- **一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。**
- プロテクトされている静止画は消せません。

- 再生中の静止画を、以下の操作でも消すことができます。
  ❶ FUNC.ボタンを押す。
  ❷ ジョイスティックを左右に押して 🗑 を選ぶ→ SET を押す。
  ❸ SET を押す→「はい」を選んで SET を押す。
  ❹ FUNC.ボタンを2回押す。

写真を拡大して見る

静止画の1枚表示画面でズームレバーを押すと、最大5倍まで拡大できます。拡大できない静止画のときは、が表示されます。

T側に押す

- 拡大した静止画を縮小したいときはW側に押す。

静止画を上下左右に動かす

拡大した後、静止画を上下左右に移動できます。

上下左右に動かすと静止画が動く。

画面の拡大をやめる

拡大表示枠が消えるまでW側に押し続けます。

この枠が消えるまで押し続ける。

順番に再生する

ビデオ
写 真

音楽と一緒に静止画を順番に再生します。テレビにつないで家族や友人と見るときなどに便利です。音を出さないで再生することもできます。

撮る 見る

■ 音楽を選ぶ

1 インデックス画面を出す

- インデックス画面が表示されているときは、操作1は不要。

2 選曲する

ビデオカメラ内の音楽と一緒に再生するとき

- 101ページを参照して、操作2～4を行う。
- 音楽を再生しないときは「切」を選ぶ。

オーディオプレーヤーの音楽と一緒に再生するとき

プレーヤーをつないで再生する

- 102ページを参照して、本機とプレーヤーを接続し、操作2～5を行う。

3

「音楽連動再生」のチェックを入れたとき

- プレーヤーを再生する。
- 選択している静止画からスライドショーが始まる。

「音楽連動再生」のチェックを外したとき

カメラ内の音楽の場合

スライドショーを選ぶ

❶ 左右に押して (スライドショー)を選ぶ → SET を押す。

❷ スライドショーと音楽の再生が始まる。

音の大きさを変えるとき

ジョイスティックを左右に押す。

- 操作案内が出ていないときは上に押す。

スライドショーを止めるとき

FUNC. ボタンを押す。

■ 効果を選ぶ

スライドショーに効果をつけて見ることができます。

❶ FUNC.→ (メニュー) → → 「スライドショーエフェクト」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 「クロスフェード」または「スライド」を選ぶ→ SET を押す。

● 付属の音楽と一緒に再生するときは、静止画と音楽を同じメモリーに保存してください。詳しくはImageMixer3の取扱説明書（PDF）をご覧ください。

● プレーヤーなどの音楽と一緒に再生する場合、スライドショーは音楽が終わるまで繰り返し再生され、音楽と終わると終了します。

写真を回転して再生する

再生中の静止画を時計回りに90度ずつ回転します。

撮る **見る**

1 静止画を選ぶ

- 静止画の1枚表示画面で回転する静止画を選ぶ。

2 押す

3 回転を選ぶ

❶ 左右に押して（回転）を選ぶ→ SET を押す。

❷ SET を押す。

- 押すたびに90度ずつ回転する。

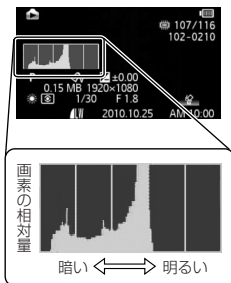
4 2回押す

写真の明るさを図で確認する

撮影した静止画の明るさを確認して、撮影するときの明るさの目安にしましょう。この明るさの図を「ヒストグラム」といいます。画素の相対量が図の右側に多いと明るく、左側に多いと暗いことを表しています。ヒストグラムの表示は、DISP.ボタンを押して消せます。

撮る 見る

1 再生中に押す

- 押すたびに表示が切り換わる。

表示の切り換わりかた

ヒストグラムなどのすべての表示 → 記録枚数、日時、画質などの表示 → 表示なし

映像を写真として切りとる

撮影した映像から、気に入った一場面を静止画として切りとれます。記録される静止画サイズは1920×1080になり、画質は3種類から選べます。

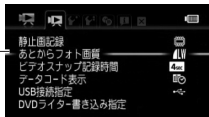
Eye-Fiカードを使うときは、事前に「ご注意」（📖 150）を確認してください。

撮る 見る

1 押す

2 静止画の画質を選ぶ

❶ (メニュー)→ →「あとからフォト画質」を選ぶ→ SET を押す。

❷ いずれかを選ぶ → SET を押す。

3 押す

4 SET を押す

- 再生が始まる。
- 切りとりたい場面でもう一度押して、再生一時停止にする。

5 押す

- Eye-Fiカードを記録先に設定して静止画を記録すると、通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（□ 202）。

MEMO

- 動画を撮影したときの日付や時刻が、静止画の撮影日時として設定されます。
- 動きの速い映像を静止画として切りとると、ブレた静止画になることがあります。
- 静止画は、メニューの「静止画記録」で記録先として選んだメモリーに記録されます*。

* HF R11/HF R10のみ

写真を保護する

ビデオ 写真

大切な静止画を誤って消さないように保護します。

撮る 見る

■ 再生中の静止画を再生中に保護する

1 静止画を選ぶ

2 押す

3 プロテクトを選ぶ

❶ 左右に押して（静止画プロテクト）を選ぶ→ を押す。

❷ を押す。

- が出る。

他の静止画を保護するとき

左右に押して、 を押す。

設定を解除するとき

もう一度 を押す。

4 2回押す

■ 選んだ静止画をまとめて保護する

あらかじめ選んでおいた静止画や、その場で選んだ静止画を保護します。静止画の保護をすべて解除することもできます。

1 「選択」で静止画を選ぶ（□ 62）

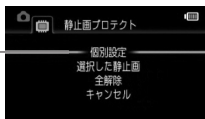
2 押す

3 プロテクトを選ぶ

❶ 左右に押して O┳（静止画プロテクト）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して「選択した静止画」を選ぶ→ SET を押す。

❸ 「はい」を選ぶ→ SET を押す。

❹ SET （OK）を押す。

「個別設定」を選んだとき

151ページの操作3 ❷～操作4を行って終了する。

- 静止画の1枚表示画面で保護できる。

写真

4 編集する

静止画の保護をすべて解除するとき

❶ 操作3の❷で「全解除」を押す→ SET を押す。

❷ 「はい」を押す→ SET を押す。

❸ SET (OK) を押す。

4 押す

● プロテクト設定をしても、メモリーを初期化するとすべてのデータは消えます。

写真をコピーする

HF R11 / HF R10

静止画を内蔵メモリーからカードにのみコピーできます。動画のコピーについては130ページをご覧ください。
Eye-Fiカードを使うときは、事前に「ご注意」（□ 156）を確認してください。

撮る 見る

■ 1枚の静止画を再生中にコピーする

1 コピー元となる静止画を選ぶ

- 内蔵メモリーに保存されている静止画を選ぶ。

2 押す

3 コピーする

❶ 左右に押して（コピー[➡]）を選ぶ → SET を押す。

❷ SET を押して、「はい」を選ぶ→ SET を押す。

4 2回押す

写真

4 編集する

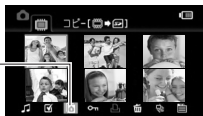
■ 1枚の静止画、選んだ静止画、すべての静止画をまとめてコピーする

1枚の静止画、あらかじめ選んでおいた静止画、またはすべての静止画をまとめてコピーできます。

1 内蔵メモリーのインデックス画面で静止画を選ぶ

- あらかじめ選んだ静止画をコピーする場合は、「選択」で選ぶ（□ 62）。
- すべての静止画をコピーするときは操作1は不要。

2 押す

3 コピーを選ぶ

❶ 左右に押して （コピー[➡]）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して「すべての静止画」、「1枚」または「選択した静止画」を選ぶ→ SET を押す。

❸ 「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき

SET （中止）を押す。「1枚」以外を選んだときは操作を中止できる。

❹ SET （OK）を押す。

4 押す

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - AUTO/ INDEX SEL.ボタンを操作しない。
  - ボタンを押さない。
- Eye-Fiカードをコピー先に設定して静止画をコピーすると、通信が可能であれば自動的にアップロードが開始されます。Eye-Fiカードを使うときは、その国や地域での使用が認められているかを必ずご確認ください（202）。

- カードの空き容量が足りない場合、コピーは中断されます。

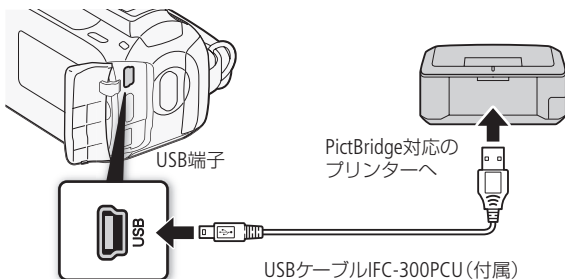
コピーできない場合

- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているとき。
- 付属のImageMixer 3で編集して本機に書き戻したシーンのとき。

写真を印刷する

ビデオ
写真

本機に直接、別売のPictBridge対応プリンターを接続して、パソコンなしで簡単な操作で印刷できます。キヤノン製プリンターでは、PictBridge対応のSELPHY　CP／ES／DSシリーズやPIXUSシリーズを使用できます。

■ プリンターとつなぐ　PictBridge

撮る　見る

1　本機　静止画見るモードにする

- インデックス画面が表示されている場合は、ズームレバーをT側に押して1枚の静止画を表示する。

2　プリンター　電源を入れる

3 本機とプリンターをつなぐ

「接続機器を選択してください」が出たとき

「パソコン／ 」を選ぶ→ を押す。

- 本機の画面に が点滅した後、 が出る。
- が出る。

- 操作3で が約1分以上点滅し続ける場合、または が出ない場合は、ビデオカメラとプリンターから接続ケーブルを抜き、電源を入れ直してからつないでください。
- すべての静止画の消去中や印刷指定の全解除中は、プリンターにつないでも認識されません。

- 印刷できない静止画のときは が表示されます。
- 本機にコンパクトパワーアダプターをつないで使うことをおすすめします。
- プリンターの説明書もあわせてご覧ください。
- DVDライターを使用しない場合は、メニューの「USB接続指定」を「パソコン／ 」にすると、プリンターとつないだときに「接続機器を選択してください」が出なくなります。
- プリンター接続時は、静止画を100枚以下にすると快適に操作できます。

■ 用紙や枚数などを選んで印刷する

1 上に押す

- 操作案内が出る。

2 を選び、SET を押す

- 印刷設定画面が出る。

3 設定する項目を選び、SET を押す

用紙設定	用紙サイズ	プリンターによって異なります。
	用紙タイプ	フォト、高級フォト、標準設定、普通紙
	レイアウト	フチなし[*1]、フチあり、2／4／8／9／16面配置、標準設定
（日付印刷）		入、切、標準設定
（画像補正-イメージオプティマイズ）[*2]		入、切、VIVID[*3]、NR[*3]、VIVID+NR[*3]、標準設定
（印刷枚数）		1〜99枚

*1 撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右をカットして印刷されることがある。

*2 画像補正機能（イメージオプティマイズ）付きプリンターをお使いの場合のみ。

*3 キヤノン製プリンターPIXUS／SELPHY DSシリーズをお使いの場合のみ。

4 設定内容を選び、SET を押す

5 「印刷」を選び、SET を押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると1枚表示画面に戻る。

続けてほかの静止画を印刷するとき

左右に押して静止画を選ぶ。

印刷を中止するとき

印刷中に SET （中止）を押す。確認画面が出たら、「OK」を選び、 SET を押す。

印刷が終了したとき

❶ USBケーブルを本機とプリンターから抜く。

❷ 本機の電源を切る。

印刷中に異常が発生したとき

「用紙がありません」／「用紙が詰まりました」（□ 230）、「インクがありません」（□ 228）などのお知らせ表示が本機の画面に出るので、トラブルを解決する。

キヤノン製のPictBridge対応プリンターの場合

以下のいずれかの操作をする。

- ジョイスティックで「続行」を選んで SET を押す。
- 「中止」を選んで SET を押して印刷し直す。

上記操作をしても再開しない場合

USBケーブルを抜き差しした後、本機の電源を入れ直す。

- 設定内容は接続するプリンターによって異なります。「標準設定」は、お使いのプリンターであらかじめ設定されている内容です。詳細については、プリンターの説明書をご覧ください。

「用紙設定」の「レイアウト」で設定できる配置（キヤノン製プリンター）

	カード	L判	はがき	A4
PIXUS/SELPHY DSシリーズ	—	—	2/4/9/16面配置*1	4面配置
SELPHY ES/CP*2 シリーズ	2/4/8面配置*3	2/4面配置	2/4面配置	—

*1 専用のシール紙にも印刷可能

*2 SELPHY CPシリーズの場合は、ワイド用紙を使用して「標準設定」を選ぶと、2／4面配置ができます。

*3 8面配置のとき専用のシール紙にも印刷可能（SELPHY CPシリーズのみ）

印刷する写真を選ぶ

ビデオ
写真

印刷したい静止画と枚数を指定できます（DPOF）。998枚までの静止画に印刷指定できます。印刷指定した静止画を保存したカードを、プリンターやパソコンのスロットに入れて印刷操作を行うと、指定した静止画を印刷できます。

■ 1枚の静止画を再生中に印刷指定する

撮る 見る

1 静止画インデックス画面に切り換える

HFR11 / HFR10 内蔵メモリーを選択しているときはカードを選択する。

2 静止画を選ぶ

3 押す

4 印刷指定する

❶ 左右に押して 凸（印刷指定）を選ぶ→ SET を押す。

❷ SET を押す。

- 枚数がオレンジ色になる。

❸ 上下に押して枚数を選ぶ→ SET を押す。

印刷指定を解除するとき

枚数を「0」にする。

他の静止画を指定するとき

左右に押して静止画を選び、❶～❸の操作を行う。

5 2回押す

■ 選んだ静止画をまとめて印刷指定する

あらかじめ選んでおいた静止画を印刷指定します。静止画の印刷枚数は自動的に1枚に設定されます。また、その場で選んだ静止画を印刷指定することや、静止画の印刷指定をすべて解除することもできます。

撮る **見る**

1 静止画インデックス画面に切り換える

HF R11 / HF R10 内蔵メモリーを選択しているときはカードを選択する。

2 「選択」で静止画を選ぶ（□ 62）

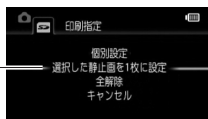
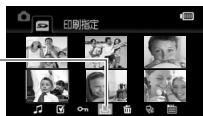
3 押す

4 印刷指定を選ぶ

❶ 左右に押して (印刷指定)を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して「選択した静止画を1枚に設定」を選ぶ→ SET を押す。

❸ 「はい」を選ぶ→ SET を押す。

❹ SET (OK)を押す。

「個別設定」を選んだとき

163ページの操作4 ❷〜操作4を行って終了する。

- 静止画の1枚表示画面で印刷指定できる。

印刷指定をすべて解除するとき

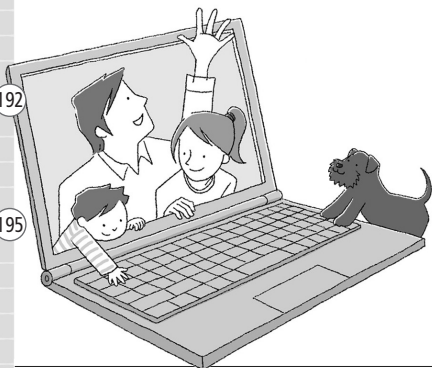
❶ ❷で「全解除」を押す→ SET を押す。

❷ 「はい」を押す→ SET を押す。

❸ SET (OK)を押す。

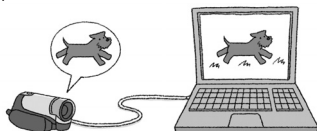
5 押す

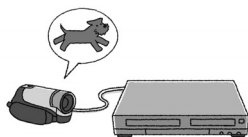
Chapter

4

保存／共有

残しかたいろいろ

パソコンに保存したい

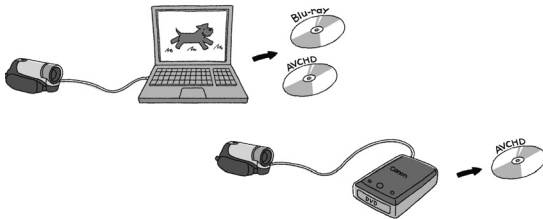
- 動画を保存 📖 170
- 静止画を保存 📖 171

ビデオ機器にダビングしたい

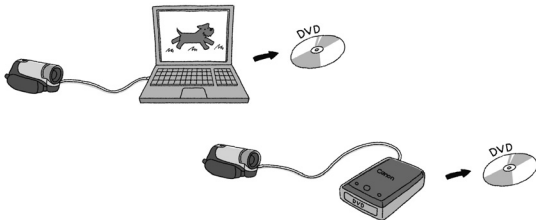
- ハイビジョン画質のままダビング 📖 192
- 標準画質に変換してダビング 📖 192

動画共有サイトでお披露目したい

- Webボタンをつかって 📖 195
- Eye-Fiカードをつかって 📖 200

ディスクを作りたい

ハイビジョン画質のディスクを作る

■ パソコンを使って 🕮 175
■ DVDライター（別売）を使って 🕮 176

標準画質のDVDを作る

■ パソコンを使って 🕮 181
■ DVDライター（別売）を使って 🕮 186

パソコンに保存する

撮影した映像は内蔵メモリーやカードに記録されます。万一に備えてパソコンなどに保存（バックアップ）しましょう。

撮る 見る

■ ハイビジョン画質で動画を保存する

付属の動画用ソフトウェアPIXELA ImageMixer 3 SE（以下ImageMixer 3）を使って、本機の内蔵メモリー*やカードに記録された動画をパソコンに保存することができます。

* HF R11/HF R10のみ

インストールについて

⇒ PIXELA ImageMixer 3 SEインストールガイド

詳細について

⇒ ImageMixer 3の取扱説明書（PDF）

- パソコンに接続しているときは次のことを必ず守ってください。
  - カードカバーを開けない。
  - カードを抜き差ししない。
- パソコンに保存した映像を本機に書き戻しているときは、次のことを必ず守ってください。本機に再生できないシーンが残ることがあります。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。
- 本機に接続したパソコンから本機のメモリー内のフォルダーやファイルを直接操作すると、記録したデータが破損する恐れがあります。映像データをパソコンに保存したり、本機に書き戻したりするときは、付属のImageMixer 3を使って行ってください。

保存

■ 静止画を保存する

付属の静止画用ソフトウェアフォトアプリケーションを使って、撮影した静止画をパソコンに保存することができます。
詳しくは、フォトアプリケーションVer.34/音楽データディスクに入っている「フォトアプリケーション使用説明書」をご覧ください。

準備する

はじめて静止画をパソコンにつなぐときには、ソフトウェアのインストールと自動起動の設定が必要です。2度目からは、ビデオカメラをパソコンにつなぐだけで、準備は完了です。

撮る **見る**

1 パソコン フォトアプリケーションをインストールする

参考 ▸ フォトアプリケーション使用説明書の「フォトアプリケーションをインストールする」

2 本機 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

3 本機 静止画見るモードにする

4 本機 取り込む静止画の画面に切り換える

❶ ズームレバーをW側に押す。

❷ 内蔵メモリー*またはカードのインデックス画面に切り換える。

* HF R11/HF R10のみ

付属のUSBケーブル

5 本機とパソコンをつなぐ

参考 ▸ フォトアプリケーション使用説明書の「ビデオカメラをパソコンに接続する」

「接続機器を選択してください」が出たとき

「パソコン／ 」を選ぶ→ SET を押す。

Windowsのとき

CameraWindowが自動で起動するようにパソコンで設定する。

参考 ▸ フォトアプリケーション使用説明書の「CameraWindowを起動する」

Macintoshのとき

CameraWindowが自動で表示される。

参考 ▸ フォトアプリケーション使用説明書の「パソコンに画像を取り込む」

保存

パソコンに取り込む

1 パソコンで操作して静止画を保存する

参考 ▶ フォトアプリケーション使用説明書の「パソコンに静止画を取り込む」

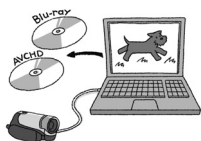
- パソコンに接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- 大切な元のデータを消さないために、静止画は必ずパソコンにコピーし、コピーした静止画をパソコンで使用してください。
- 本機のACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データが破損することがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。
  - AUTO/INDEX SEL.ボタン、AUTO/PLAYLISTボタンまたは、 ボタンを操作しない。

- パソコンの説明書もあわせてご覧ください。
- Windows 7、Windows Vista、XPとMac OS Xをお使いの場合、付属のフォトアプリケーションをインストールしなくても、本機とパソコンをUSBケーブルでつなぐだけで静止画をパソコンに取り込めます。
- DVDライターを使用しない場合は、メニューの「USB接続指定」を「パソコン／ 」にすると、パソコンとつないだときに「接続機器を選択してください」が出なくなります。
- 動画見るモードでパソコンに接続すると、自動的にサムネイルの作成が始まります。その場合は以下の操作を行ってください。
  ① 本 機 「サムネイル作成中」の画面が表示されたら、SET（スキップ）を押す。
  ② パソコン 安全な取りはずしを行い、USBケーブルを抜く。
  ③ 本 機 静止画見るモードに切り換え、パソコンと接続する。

ハイビジョン画質のディスクを作る

付属の動画用ソフトウェアPIXELA ImageMixer 3 SE（以下ImageMixer 3）を使って、ハイビジョンのディスクを作成できます。また、別売のDVDライターDW-100があれば、パソコンを使わなくてもディスクが作れます。

撮る 見る

■ パソコンを使って作る

ImageMixer 3を使って、ブルーレイやDVD（AVCHD規格）のディスクを作成できます*。

インストールについて

⇒ PIXELA ImageMixer 3 SEインストールガイド

詳細について

⇒ ImageMixer 3の取扱説明書（PDF）

* **パソコンに、書き込み可能なブルーレイドライブまたはDVDドライブが必要です。**

■ DVDライター（別売）を使って作る

DVDライターDW-100（別売）を使うと、ハイビジョン画質のDVD（AVCHD規格）を作成できます。DVDライターの操作については、DVDライター使用説明書をご覧ください。

本機の準備をする

1 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

2 動画見るモードにする

3 保存するデータがある画面に切り換える

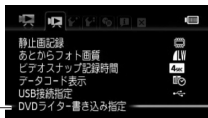
- 内蔵メモリー*またはカードのインデックス画面に切り換える。

* HF R11/HF R10のみ

4 保存するデータを指定する

- 操作3でプレイリストの画面に切り換えた場合は、プレイリストの全シーンが保存されるため、この操作は不要。

❶ FUNC. ボタンを押す。

❷ (メニュー)→ または →「DVDライター書き込み指定」を選ぶ→ SET を押す。

❸ いずれかを選ぶ→ SET を押す。

全シーン	すべてのシーン。
未作成シーン	DVDに保存したことがないシーン。

* 現在インデックス画面に表示しているメモリーのシーンについて指定します。

❹ FUNC. ボタンを押す。

DVDに保存する

1 DVDライター 電源を入れる

参考 ▸▸ DVDライター使用説明書の「DVDを作成する」

2 本機とDVDライターを接続する

参考 ▸▸ DVDライター使用説明書の「接続する」

- 接続準備のあと、「ディスクがありません」が出る。

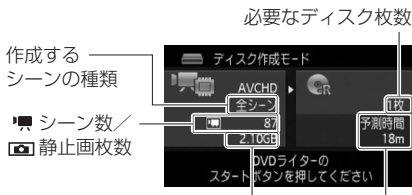
「接続機器を選択してください」が出たとき

「DVDライター」を選ぶ→ SET を押す。

3 DVDライター 未使用のディスクを入れる

❶ OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを開く。

❷ 未使用のディスクを入れる。

❸ OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを閉じる。

「使用済み-RWディスクです」が出たとき

上書きするときは SET を押す→「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- 上書きすると記録されていたデータはすべて消去されます。

4 DVDライター スタートボタンを押す

- 本機の画面に書き込み状況が出る。
- スタートボタンを押してディスクの作成を開始した後は中止できません。
- 「終了しました」が出たらディスクを取り出してトレイを閉める。

「未使用のディスクを入れてディスクトレイを閉じてください」が出たとき

1. 未使用のディスクを入れる。
2. OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを閉じる。

同じディスクをもう1枚作るとき

未使用のディスクを入れてディスクトレイを閉める。

- DVDライターと接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- ビデオカメラのACCESSランプが点滅しているときは、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やDVDライターの電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- 作成したハイビジョンのディスクは、AVCHD規格に対応した機器でのみ再生できます。対応していない機器にディスクを入れないでください。
  ディスクを取り出せなくなることがあります。

MEMO

- 1枚のディスクに入りきらないシーンは、シーンの途中から次のディスクに保存される場合があります。
- 保存するシーン数が多いと、178ページの操作2の接続準備に時間がかかることがあります。保存するシーン数は500シーン以内をおすすめします。その場合、接続準備にかかる時間は約3分以内です。

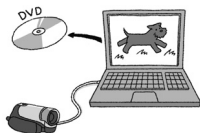
標準画質のDVDやフォトDVDを作る

付属の動画用ソフトウェアPIXELA ImageMixer 3 SE（以下ImageMixer 3）を使って、DVDを作成できます。また、別売のDVDライターDW-100があれば、パソコンを使わなくてもDVDを作れます*。作ったDVDは家族や友人と一緒にDVDプレーヤーなどで再生できます。なお、DVDライターを使うと、静止画をディスクに保存することもできます（フォトDVD）。

* HF R11/HF R10のみ

■ パソコンを使ってDVDを作る

パソコンにImageMixer 3をインストールすれば、標準画質のDVD（DVD-Video規格）を作成できます*。

* パソコンに書き込み可能なDVDドライブが必要です。

撮る **見る**

パソコンの準備をする

パソコンを使ってはじめてDVDをつくるときは、ソフトウェアImageMixer 3のインストールが必要です。

インストールについて

⇒ PIXELA ImageMixer 3 SEインストールガイド

詳細について

⇒ ImageMixer 3の取扱説明書（PDF）

DVD作成に使うシーンを準備する HFR11/HFR10

DVDを作成する前に、保存する動画を標準画質（SD-Video形式）に変換（ダウンコンバート）します。変換は内蔵メモリーからカードへコピーしながら行います。

1 カードを入れる

2 内蔵メモリーのインデックス画面に切り換える（📖 54）

- オリジナル、プレイリストまたはビデオスナップのインデックス画面に切り換える。

3 押す

4 シーンを選ぶ

- 操作2でプレイリストの画面に切り換えた場合は、プレイリストの全シーンが変換されるため、この操作は不要。

❶ 左右に押して☑（選択）を選ぶ→ SET を押す。

❷「個別設定」を選ぶ→ SET を押す。

❸ 選択したいシーンで SET を押すと ☑ がつく。

保存

5 「HD→SD変換（ DVD用）」を選ぶ

上下に押して「1シーン」または「選択したシーン」を選ぶ→ SET を押す。

- 変換対象の記録時間、変換に必要な容量が画面に出る。

著作権に関する確認画面が出たとき

同意する場合は、「OK」を選択する。

1秒あたりのデータ量（ビットレート）を設定するとき

❶ FUNC →「ビットレート（画質）」を押す。

❷「3 Mbps」または「9 Mbps」を選択する。

変換後の映像に日時を記録するとき

❶ FUNC →「日時記録」を押す。

❷「入」を選択する。

6 変換する

「実行」を押すと変換が始まる。

中止するとき

❶ FUNC を押す。

❷「OK」を押す。

MEMO
- 変換には撮影時間とほぼ同じ時間がかかります。なお、パソコンより短時間で変換できることが多いため、本機で変換することをおすすめします。
- プレイリストまたはビデオスナップのシーンを変換する場合、音楽を選曲していると、元の音声が音楽で置き換わります。

プレイリストをDVD用に変換する場合

- 登録されているシーンが1つのシーンとして結合される。
- 登録後のサイズが大きい場合は、2GBごとに分割されて別々のシーンになる。
- 変換できる記録時間は、2時間30分まで。

変換した動画を再生するには

- 「DVD用」のインデックス画面に切り換え（□ 55）、シーンを選んで SET を押す。

保存

パソコンを使ってDVDを作る

HF R11 / HF R10

1 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

2 カードのDVD用インデックス画面に切り換える（□ 55）

- 変換後の動画が保存されているカードのインデックス画面に切り換える。

3 本機とパソコンをつなぐ

「接続機器を選択してください」が出たとき

「パソコン／ 」を選ぶ→ SET を押す。

- ImageMixer 3のランチャー画面が出る

4 パソコン ImageMixer 3を操作してDVDを作る

❶「ディスク作成」をクリックする。

❷ 以降は、画面の指示に従って操作する。

参考 ▸ Image Mixer3の取扱説明書（PDF）

HF R100

HF R100については、あらかじめパソコンに画像を取り込む必要があります。
ディスクの作成のしかたについてはImage Mixer3の取扱説明書（PDF）「ディスクに保存する」をご覧ください。

ご注意

- パソコンと接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- ビデオカメラの ACCESSランプが点滅しているときは、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーは開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。

■ DVDライター（別売）を使ってDVDを作る HF R11 / HF R10

お好みのシーンを選んでDVDを作成できます。オリジナルはもちろんのこと、プレイリストやビデオスナップのシーンから選ぶこともできます。プレイリストやビデオスナップのシーンから作るときは、音楽をつけることもできます。

撮る **見る**

DVD作成に使うシーンを準備する

DVDを作成する前に、保存する動画を標準画質（SD-Video形式）に変換します。変換は内蔵メモリーからカードへコピーしながら行います。

182ページの「DVD作成に使うシーンを準備する」の操作を行う。

DVDを作る

DVDライターの操作については、DVDライター使用説明書をご覧ください。

1 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

2 動画見るモードにする

3 カードの「DVD用」のインデックス画面に切り換える（ 55）

- 変換後の動画が保存されているカードのインデックス画面に切り換える。

4 DVDライターをつないでDVDを作る

- 178ページの操作1～4を行う。

- DVDライターと接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- ビデオカメラの ACCESSランプが点滅しているときは、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーは開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やDVDライターの電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。

- 保存するシーン数が多いと、178ページの操作2の接続準備に時間がかかることがあります。保存するシーン数は500シーン以内をおすすめします。

■ DVDライター（別売）を使ってフォトDVDを作る

静止画をフォトDVDとしてディスクに保存できます。フォトDVDを作成すると自動的にフォトムービー*[1]も作成されます。現在インデックス画面に表示されているすべての静止画*[2]がディスクに保存されます。DVDライターの操作については、DVDライター使用説明書をご覧ください。

*[1] 静止画が3秒ごとのスライドショーとして再生される。

*[2] カードに記録された静止画を保存する場合、カード内にWeb用のシーンがあると、それらのサムネイル（縮小画像）も保存されます。

撮る **見る**

1 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

2 静止画見るモードにする

3 保存するデータがある画面に切り換える

- 内蔵メモリー*またはカードの静止画インデックス画面に切り換える。
  * HF R11/HF R10のみ
- 静止画再生中の画面で操作することもできる。

4 DVDライターをつないでフォトDVDを作る

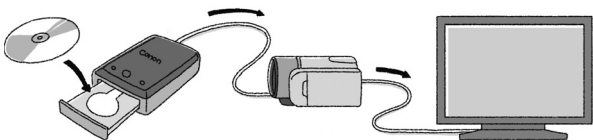
- 178ページの操作1～4を行う。

保存

DVDライターを使って作ったディスクを見る

DVDライターDW-100（別売）を使って作ったハイビジョン画質のDVDは、本機とDVDライターをつないで再生します。フォトDVD／標準画質のDVDは市販のDVDプレーヤーやパソコンなどで再生できます。

■ ハイビジョン画質のDVDを見る

ハイビジョンテレビにつないで、高精細な映像をお楽しみください。本書とDVDライターの説明書をあわせてご覧ください。

* 本機とテレビの接続については、66ページをご覧ください。

撮る **見る**

1 本機とテレビを接続する

2 本機 動画見るモードにする

3 DVDライター 電源を入れて「再生モード」に切り換える

参考 ▸▸ DVDライター使用説明書の「DVDを再生する」

4 本機とDVDライターを接続する

参考 ▸ DVDライター使用説明書の「接続する」

「接続機器を選択してください」が出たとき

「DVDライター」を選ぶ→ SET を押す。

5 DVDライター ディスクを入れる

- ディスクの内容がインデックス画面に出る。

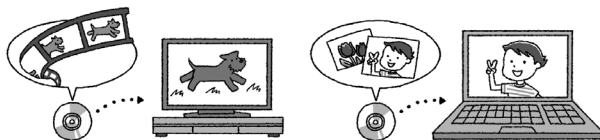
6 本機 見たいシーンを再生する

保存

- DVDライターと接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。

- DVDライターと接続中は、メニューやFUNC.メニューは使用できません。
- 約60倍の早送り／早戻し以外の再生機能が使用できます（ 61）。

■ フォトDVD／標準画質のDVDを見る

DVDに保存したフォトムービーや標準画質のDVDは、DVD-Video規格に対応したDVDプレーヤーやDVDレコーダーで再生できます。また、静止画はパソコンで見ることができます。なお、フォトムービーはAVCHD規格ではありません。

MEMO

● フォトDVDや標準画質のDVDは、DVDライターDW-100では再生できません。

ビデオ機器にダビングする

撮影した映像を他のビデオ機器にダビングすることができます。

撮る 見る

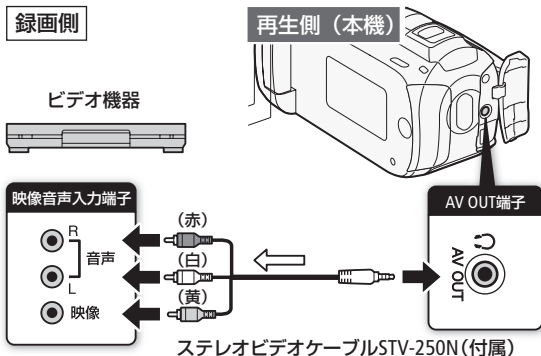
■ ハイビジョン画質のままダビングする

USBケーブル（付属）でAVCHD規格対応のレコーダーなどと接続すれば、ハイビジョン画質のままダビングできます。レコーダーにSD/SDHCカードスロットがあれば、カードを入れてダビング可能です。なお、本機との動作確認については、お使いのレコーダーの説明書やホームページなどでご確認ください。

■ 標準画質に変換してダビングする

本機で撮った動画を映像／音声端子付きのビデオ機器にダビングできます。画質は標準画質に変換されます。

接続する

保存

1 本機 動画見るモードにする

2 メニューの設定を確認する

- メニューの「AV/ヘッドホン」が「AV」になっていることを確認する（114）。

3 録画機 録画一時停止状態にする

4 本機 再生を始めるシーンを選ぶ

5 本機 を押す

- 再生が始まる。
- ジョイスティックを下に押すと操作案内を消すことができる。
- 本機に表示される日時やカメラデータを入れて録画できる。DISP.ボタンを押すたびに、表示に切り換わる（91）。

6 録画機 録画を始める場面で、録画操作をする

7 録画機 録画を終える

8 本機 再生を終える

上に押す。

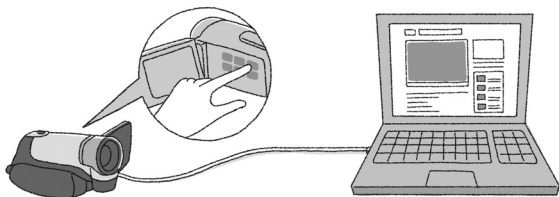
- 操作案内が出る。
- ■（停止）を選んで SET を押す。

- 本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐと、バッテリーの消耗を気にせず録画できます。

動画共有サイトにアップロードする

WEBボタン*と付属の動画用ソフトウェアImageMixer 3を使うと、撮影した映像を簡単に動画共有サイト（YouTube）にアップロードできます。Eye-Fiカードを使ってアップロードすることもできます。

* HF R11/HF R10のみ

■ WEBボタンを使ってアップロードする HF R11 / HF R10

撮る 見る

準備する

はじめてパソコンからアップロードするときは、ソフトウェアImageMixer 3のインストールが必要です。

インストールについて

⇒ PIXELA ImageMixer 3 SEインストールガイド

詳細について

⇒ ImageMixer 3の取扱説明書（PDF）

動画をWeb用に変換（ダウンコンバート）する

はじめに、アップロードする動画を標準画質（MPEG2形式）に変換します。変換は内蔵メモリーからカードへコピーしながら行います。

1 カードを入れる

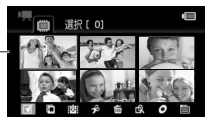
2 内蔵メモリーのインデックス画面に切り換える（□ 54）

- オリジナル、プレイリストまたはビデオスナップのインデックス画面に切り換える。

3 押す

4 シーンを選ぶ

- 操作2でプレイリストの画面に切り換えた場合は、プレイリストの全シーンが変換されるため、この操作は不要。

❶ 左右に押して☑（選択）を選ぶ→ SET を押す。

❷「個別設定」を選ぶ→ SET を押す。

❸ 選択したいシーンで SET を押すと☑がつく。

シーンの途中から変換するとき

① ❶、❷、❸を行わないで、変換するシーンを再生する。

② SET を上に押して操作案内を出す。

③ 好みの位置で再生一時停止になる。

WEB

5 押す

著作権に関する確認画面が出たとき

同意する場合は、「OK」を選択する。

- 変換対象の記録時間、変換に必要な容量が画面に出る。

1秒あたりのデータ量(ビットレート)を設定するとき

❶ FUNC →「ビットレート(画質)」を押す。

❷「3 Mbps」または「9 Mbps」を選択する。

変換後の映像に日時を記録するとき

❶ FUNC →「日時記録」を押す。

❷「入」を選択する。

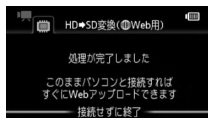
6 変換する

「実行」を押すと変換が始まる。

中止するとき

❶ FUNC を押す。

❷「OK」を押す。

- 変換が終わると右の画面が出る

パソコンからアップロードする

1 本機とパソコンをつなぐ

2 パソコン ImageMixer 3のランチャー画面が出る

3 パソコン ImageMixer 3を操作してアップロードする

❶「Webアップロード」をクリックする。

❷ 以降は、画面の指示に従って操作する。

参考 ▶▶ ImageMixer 3の取扱説明書（PDF）

保存

HF R100

HF R100については、あらかじめパソコンにシーンを取り込む必要があります。
YouTubeへのアップロードのしかたについてはImage Mixer3の取扱説明書（PDF）「映像ファイルを管理する」をご覧ください。

- パソコンと接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- ビデオカメラの ACCESSランプが点滅しているときは、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーは開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。

MEMO

- 変換には撮影時間とほぼ同じ時間がかかります。なお、パソコンより短時間で変換できることが多いため、本機で変換することをおすすめします。
- 197ページの操作6で「接続せずに終了」を選択した場合、アップロードするときは動画のインデックス画面に切り換えてからパソコンに接続してください。詳しくはImageMixer 3の取扱説明書（PDF）をご覧ください。
- プレイリストまたはビデオスナップのシーンを変換する場合、音楽を選曲していると、元の音声が音楽で置き換わります。

プレイリストをWeb用に変換する場合

  - 登録されているシーンが1つのシーンとして結合される。
  - 登録後のサイズが大きい場合は、10分ごとに分割されて別々のシーンになる。
  - 変換できる記録時間は、2時間30分まで。
- 再生一時停止状態で変換すると、一時停止位置から最大10分のシーンになる。

変換した動画を再生するには

  - 「Web用」のインデックス画面に切り換え（📖 55）、シーンを選んで SET を押す。

■ Eye-Fiカードを使ってアップロードする

動画のアップロードに対応したEye-Fiカードを使うと、内蔵メモリーに撮影した動画を標準画質（MPEG2形式）に変換するだけで、自動的に動画共有サイトにアップロードすることができます。

撮る 見る

準備する

あらかじめ、カードに付属しているソフトウェアをパソコンにインストールして、アップロードに必要な設定を行う必要があります。詳しくは、お使いのEye-Fiカードの説明書をご覧ください。

保存

動画をアップロード用に変換（ダウンコンバート）する

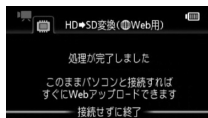
1 Eye-Fiカードを入れる

- Eye-Fiカードを使うときは、事前に「ご注意」（202）を確認してください。

2 押す

3 シーンを選んで、アップロード用に変換する

❶ 196ページの操作1から6を行う。

- 変換が終了すると、自動的にアップロードが始まる。

❷「接続せずに終了」→ SET を押す

- Eye Fiカード通信状態は、次のマークで確認できる。

（灰色）	未接続。
（白色点滅）	接続中。
（白色）	データの送信待機中。
（アニメーション）	データを送信中。
OFF	メニューの「Eye-Fi通信」を「切」に設定している。
	中断中。
	カード情報取得エラー。

通信機能を無効にする

❶ （メニュー）→ → 「Eye-Fi通信」を選ぶ → SET を押す。

❷「Eye-Fi通信」*→「切」を選ぶ→ SET を押す。

❸ FUNC ボタンを押す。

* Eye-Fiカードを入れると表示されます。

- 弊社は、Eye-Fiカードの機能（無線送信を含む）については保証いたしかねます。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。また、Eye-Fiカードの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認可を取得していないものの使用は認められていません。使用が認められているかご不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。
- 航空機の機内など、無線の使用が禁止されている場所では、Eye-Fiカードを使用しないでください。カードはあらかじめ本機から抜いてください。

- データの容量が大きいときや通信状態によっては、アップロードに時間がかかることがあります。また、通信状態が悪くなると、アップロードを中断することがあります。

電源について

- ■ Eye-Fiカードによる通信は、バッテリーの消耗を早めます。本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐと、バッテリーの消耗を気にせずアップロードできます。
- ■ アップロード中は、「パワーセーブ」メニューの「オートパワーオフ」は働きません。
- 通信中に、外部マイクを使用して動画を撮影すると、記録される音声に雑音が入ることがあります。外部マイク使用時は、メニューの「Eye-Fi通信」を「切」にすることをおすすめします。
- Eye-Fiカードの誤消去ツマミを「LOCK」側にしていると、メニューの「Eye-Fi通信」で通信機能をON/OFFすることはできません。また通信状態を表すマークは になります。通信機能を使用するときは、誤消去ツマミのLOCKを解除してください。
- Eye-Fiカードを使用中は、定期的にAccessランプが点灯する場合があります。

Chapter 5

ふろく

Additional Information

故障かな？

修理に出す前にこの「故障かな？」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センターまたはご購入になった販売店にご相談ください。

まずココを確認しよう！

電源

□ バッテリーは充電されていますか？（📖 20）

□ 本機はコンパクトパワーアダプターで正しく接続されていますか？（📖 20）

撮影するとき

□ 電源を入れて撮るモードにしていますか？見るモードになっているときは 🎥⇆▶ ボタンを押してください。

□ カードに記録する場合は、本機にカードが入っていますか？（📖 30）

再生するとき

□ 電源を入れて見るモードにしていますか？撮るモードになっているときは 🎥⇆▶ ボタンを押してください。

□ カードから再生する場合は、本機にカードが入っていますか？（📖 30）

電源

こんなときは	どうするの？	
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	20
バッテリーが充電できない。	● 電源を切ってから充電する。 ● バッテリーの温度が0℃未満になったかまたは40℃を超えている。0℃未満の場合はバッテリーを温めてから、40℃を超えた場合は放置して40℃以下になってから、充電を開始する。 ● 周囲の温度が0℃～40℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	20
コンパクトパワーアダプターから音がする。	● コンパクトパワーアダプターを使用中に小さな音がすることがある。故障ではない。	—
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命と考えられる。新しいバッテリーを購入する。	—

■ 撮影中

こんなときは	どうするの？	📖
START/STOPボタンを押しても録画しない。	● 撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。書き込み終了まで待つ。 ● メモリーに空き容量がない。または3999シーン記録されている。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。	— 34 64 141
START/STOPボタンを押した時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる。	● START/STOPボタンを押してから、録画の開始／終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	● 被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● レンズやハイスピードAFセンサーが汚れているのでお手入れする。	81 243
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
動画の「●撮影／●II撮影一時停止／▶再生」の切り換えに時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	34 170
動画や静止画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	34 170

こんなときは	どうするの？	📖
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使いつづけると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	—

■ 再生中

こんなときは	どうするの？	📖
プレイリストに追加できない。	● プレイリストには999シーンまでしか追加できない。FXPモードとそれ以外のモードのシーンが混在する場合は、999シーン追加できないことがある。 ● 他機で記録・編集したシーンは、プレイリストに追加できないことがある。 ● メモリーに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。	— — 34 64 141
プレイリストの並べ換えができない。	● メモリーに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。	34 64 141
シーンの消去ができない。	● 他機で記録・編集をしたシーンは消去できないことがある。	—
シーンの消去に時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	34 170
静止画を消せない。	● 静止画のプロテクト設定を解除する。	151

こんなときは	どうするの？	📖
ビデオスナップを作成できない。	● 他機で記録したシーンからは作成できない。 ● メモリーに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。	34 64 141
音楽と映像を組合せて再生した場合、正しく再生できない。	● 記録や消去を繰り返したメモリーに音楽を転送すると、このようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。音楽を転送し、動画や静止画を書き戻す。 ● Image Mixer 3を使って音楽を転送中に、USBケーブルが抜けると、本機で再生できない音楽ファイルになることがある。その曲を消去してから転送し直す。 ● カードの読み取り速度が遅い。推奨のカードを使う。	34 170 101 29
プレーヤーの音楽と連動して再生できない。	● オーディオプレーヤーの音量が小さいと、連動しないことがある。プレーヤーの音量を上げる。	—
シーンを分割できない。	● 他機で記録・編集したシーンは分割できない。 ● メモリーに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。	— 34 64 141
HF R11 / HF R10 シーンをコピーできない。	● 他機で記録したシーンはコピーできない。	—
HF R11 / HF R10 静止画をコピーできない。	● 他機で記録したシーンはコピーできないことがある。	—

ふろく

こんなときは	どうするの？	📖
シーンまたは静止画を選択できない。	● シーンや静止画は100個を超えて選択できない。 ● 選択する個数を減らす。	—

■ 表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面で が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	20
** が赤く点灯する。**	● カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。 ● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、動画または静止画を消す。	31 34 34 64 141
撮影を中断してもACCESSランプが点灯している。	● 撮影したシーンをメモリーに書き込んでいる。故障ではない。	—
充電中にCHGランプが速く点滅する。	● （0.5秒に1回の点滅）コンパクトパワーアダプター、バッテリーに異常があるため、充電が中止される。カメラ修理受付センターにご相談ください。 ● （1秒ごとに2回の速い点滅）バッテリーが半分以上充電されている。故障ではない。	— 21

こんなときは	どうするの？	📖
充電中にCHGランプがゆっくりと点滅する。	● ☀………☀（2秒ごとに1回の点滅） バッテリーの温度が0℃未満になったかまたは40℃を超えている。0℃未満の場合はバッテリーを温めてから、40℃を超えた場合は放置して40℃以下になってから、充電を開始する。 ● 周囲の温度が0℃～40℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	22
画面に 📶 が出る。	● Eye-Fiカードの誤消去防止ツマミが「LOCK」側になっている。LOCKを解除する。 ● Eye-Fiカードから情報が取得できなかった。本機の電源を入れ直す。頻繁に発生する場合は、カードの不具合の可能性がある。カードメーカーに問い合わせる。	—

ふろく

■ 画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
液晶画面が暗い。	● バックライトが低輝度設定になっている。DISP.ボタンを約2秒以上押すと解除できる。	28
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	20

こんなときは	どうするの?	📖
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しない場合は、メニューの「設定初期化」を行う。すべての設定が解除される。	21 118
画面にノイズが出る。	● プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。	237
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。フリッカー低減設定で50Hzあるいは60Hzを選択すると軽減する。故障ではない。	109
動画の音声に雑音が入る	● Eye-Fiカードの通信中に外部マイクを使用して動画を撮影すると、記録される音声に雑音が入ることがある。メニューの「Eye-Fi通信」を「切」にする。	116
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く(打上げ花火やコンサートなど)で撮影すると、このようになることがある。メニューの「マイクアッテネーター」を「入」にするか、マイクレベルを手動で調整する。	92 112
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 ● ステレオビデオケーブルをはずす。 ● メニューの「AV/ヘッドホン」を「AV」にする。	51 — 114

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
カードが入らない。	● 正しい向きでカードを入れる。	30
カードに記録できない。	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要な動画や静止画を消す。 ● はじめて使用するときは、カードを初期化する。 ● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、反対側にする。 ● 動画を記録する場合は、対応しているカードを確認する。 ● 静止画番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいカードを入れて、メニューの「静止画番号」を「オートリセット」にする。	29 64 141 34 31 29 116
Eye-Fiカードからアップロードできない。	● メニューの「Eye-Fi通信」が「切」になっている（画面に OFF が出る。）。「オート」にする。 ● 電波状況が悪いときは、液晶画面を開くと改善することがある。 ● 通信中に、本機が高温になる、通信状況が悪くなる、などによって通信が停止することがある（画面に ⊘ が出る）。電源を切って本機を冷ます。または、通信状況の良い場所に移動する。 ● カードメーカーに問い合わせる。	116 — — —

ふろく

■ 他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	●テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプターを離す。	—
再生しても、テレビに映像が出ない。	●テレビの設定を、接続した端子に切り換える。	—
テレビで音声が出ない。	●D端子ケーブルでテレビにつなぐときは、音声を出力するためにステレオビデオケーブルの白と赤のプラグもつなぐ。	68
HDMIケーブルで接続しているとき、テレビに映像や音が出ない。	●HDMIケーブルを抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。	—
HDMI機器制御機能が動作しない。	●接続ケーブルを抜き差しし、本機とテレビの電源を入れ直す。 ●本機の「HDMI機器制御」が「切」になっているので、「入」にする。 ●テレビのHDMI機器制御機能が無効になっているので、有効にする。 ●テレビによってHDMI機器制御機能でできることが異なる。テレビの説明書を確認する。	— 116 — —

こんなときは	どうするの？	📖
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● メニューの「USB接続指定」が「DVDライター」になっているときは、「接続時に選択」か「パソコン／🖨」にする。 ● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 ● パソコンの別のUSB端子につなぐ。 ● すべての静止画の消去中や印刷指定の全解除中は、パソコンにつないでも認識されません。	113 —
正しく接続しているのにプリンターが動作しない。	● メニューの「USB接続指定」が「DVDライター」になっているときは、「接続時に選択」か「パソコン／🖨」にする。 ● 接続ケーブルを抜き差しし、プリンターの電源を入れ直す。 ● 2500枚以上の静止画があると、PictBridge対応プリンターに接続できない。	113 —
正しく接続しているのにDVDライターが認識されない。	● メニューの「USB接続指定」が「パソコン／🖨」になっているときは、「接続時に選択」か「DVDライター」にする。	113
プリンターと接続時、「処理中...」が表示されたままになる。	● USBケーブルを一度抜き、つなぎ直す。	—
正しく印刷されない。	● 他機で記録・作成・加工した静止画やファイル名が変更された静止画はPictBridge対応プリンターで正しく印刷されないことがある。	—

こんなときは	どうするの？	📖
静止画をパソコンに取り込めない。	●内蔵メモリーまたはカードに2500枚以上（Windows）/1000枚以上（Macintosh）の静止画があると、パソコンに取り込めないことがある。 ●カードリーダーなどを使って取り込む。内蔵メモリーの場合は、静止画をカードにコピーしてからパソコンに取り込む。	— 154

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。本機使用時、DVDライター接続時（📖 231）、プリンター接続時（📖 233）の3つの場合のメッセージについて説明しています。

■ 本機使用中に表示されるメッセージ

メッセージ	どうするの？	📖
HF R11 / HF R10 空き容量が不足しています。	● カードの不要な動画・静止画を消去するか、「ビットレート（画質）」を「3Mbps」に設定する	64 141 183 197
印刷指定エラー	● 印刷指定できる枚数（998枚）を超えたので、枚数を減らす。	—
カードカバーがあいています	● カードを入れたらカードカバーを閉じる。	31
カードがありません	● カードを本機に入れる	30
カードがいっぱいです	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要な動画や静止画を消す。	64 141
カード シーン数がいっぱいです	● カードに3999シーン記録されているため、カードに記録できない。 HF R11 / HF R10 動画のコピーができない。カードの不要な動画を消す。	64
カードにアクセス中です カードを取り出さないでください	● カードにアクセスしているときに、カードカバーを開けた。またはカードカバーを開けたときにアクセスし始めた。メッセージが消えるまでカードを絶対に抜かない。	—

メッセージ	どうするの？	📖
HFR11 / HFR10 カードにシーンがあるためリレー記録できません	●カードの動画をバックアップしたあと、カードの動画をすべて消去する。	170
カード 認識できない記録方式です	●カードに記録されている動画のテレビ方式が異なるため再生できない。	—
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	●カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	31
カードの修復が必要です カードの誤消去防止ツマミを解除してください	●カードに記録中に電源が切れた後、カードの誤消去防止ツマミをLOCK側にした。誤消去防止ツマミを反対側にする。	31
カードを確認してください	●カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ●カードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。 ●マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。 ●「カードを確認してください」が4秒後に消えて SD が赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。SD が緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。	30 — 29 31 34 170

メッセージ	どうするの？	📖
書き込みエラーがあります 他の機器で使用していなければ修復を推奨します カードを修復しますか？	● 記録中に電源がはずれた後、電源を入れた。撮影データを修復するときは「はい」を選ぶ。他機で記録したカードを入れたときは「いいえ」を選ぶことを推奨します。	—
画像がありません	● 静止画を撮影する。	134
記録できません	● ビデオスナップは他機で記録したシーンから作れません。 ● メモリーに異常があるため、記録できない。頻繁に発生する場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	—
記録できません カードを確認してください	● カードに異常があるため、記録できない。カードを完全に初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	34
HF R11 / HF R10 記録できません 内蔵メモリーにアクセスできません	● 内蔵メモリーに異常があるため、記録できない。内蔵メモリーを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	34
このカードでは動画記録できないことがあります	● SDスピードクラスに対応していないカードを入れた。クラス2、4、6または10のカードを使用する。 ● SDスピードクラス2以下のカードでは、録画モードをFXPにすると、動画が正しく記録できないことがある。	29

メッセージ	どうするの？	📖
このカードは動画記録できません このカードは動画再生できません	● 64MB以下のカードは動画の記録・再生ができない。推奨のカードを入れる。	29
このカードは動画記録できません 本機で初期化してお使いください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	34
このカードは動画再生できません 本機で初期化してお使いください		
HFR11 / HFR10 コピーできません	● カードの空き容量がコピーするデータ量より小さい。カードの不要なシーンを消すか、コピーするシーンを減らす。 ● 記録可能なシーン数を超えた。不要なシーンを消す。	64
再生できない画像です	● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。	—
再生できません	● メモリーに異常があるため、再生できない。頻繁に発生する場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	—
再生できません カードを確認してください	● カードに異常があるため､再生できない。 ● カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	34

メッセージ	どうするの？	📖
HF R11 / HF R10 再生できません 内蔵メモリーにアクセスできません	● 内蔵メモリーに異常があるため、再生できない。内蔵メモリーを完全初期化する。それでも解決しない場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	34
シーンがありません	● 動画を撮影していないならば､撮影する。 ● 顔ジャンプを行ったときに、フェイスキャッチ機能で顔を記録したシーンがなかった。 ● HF R11 / HF R10 HD→SD変換したカードにオリジナル動画が記録されていないと表示される。HD→SD変換した映像を確認するにはインデックス画面を切り替える。	40 — 55
シーン数がいっぱいです	● 記録可能なシーン数を超えた。不要なシーンを消す。 ● プレイリストには999までしか追加できない。不要なシーンを消す。	64 125
HF R11 / HF R10 時間が長すぎます	● HD→SD変換を行うプレイリストの記録時間が、2時間30分を超えている。プレイリストのシーンを減らす。	125
消去ができないシーンがありました	● 他機でプロテクトや編集したシーンは消去できない。	—
処理中です 電源をはずさないでください	● 内蔵メモリーまたはカードに書き込んでいるため、書き込みが終わるまで、そのまま待つ。	—
使用するにはAUTOモードを解除してください	● こだわりオートモードでは使えないボタンを押した。使うためにはAUTO/INDEX SEL.ボタンまたはAUTO/PLAYLISTボタンを押して、応用モードに切り換える。	16 42

ふろく

メッセージ	どうするの？	📖
スタンバイに入れません	●バッテリー残量が少なくなっているときは、スタンバイに入れない。バッテリーを充電する。	20
O╖ 静止画は消去できません	●プロテクトされた静止画は消去できない。静止画のプロテクト設定を解除する。	151
O╖ 静止画は消去できませんでした		
静止画像が多すぎます　USBケーブルをぬいてください	●メモリーに記録されている静止画が多すぎる。USBケーブルを抜き、静止画をカードにコピーしたあと、カードリーダーなどを使用して静止画をパソコンに移動する。または、不要な静止画を消す（プリンター／Windowsパソコン：2500枚未満に。Macintochパソコン：1000枚未満に）。その後、USBケーブルを接続し直す。 ●パソコンの場合、OSの設定によってはパソコンのモニターに画面が出ることがある。画面を閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	154 —
追加できないシーンがありました	●他機で記録したシーンはプレイリストに追加できないことがある。 ●FXP（録画モード）とそれ以外のシーンが混在する場合は、999シーン追加できないことがある。不要なシーンを消す。	125
追加できませんでした	●FXPモードまたはそれ以外のシーンが混在する場合は、999シーン追加できないことがある。不要なシーンを消す。	64

メッセージ	どうするの？	📖
データを修復できませんでした	● 壊れたデータを修復できない。動画と静止画をバックアップして、記録メモリーを初期化する。	34 170
動画／静止画データのバックアップは定期的に行ってください	● 万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータを定期的にバックアップする。	170
HF R11 / HF R10 内蔵メモリーがいっぱいです	● 内蔵メモリーに空き容量がない。画面で「▣ END」が点灯。不要な動画を消すか、動画と静止画をバックアップして内蔵メモリーを初期化する。	34 64 170
HF R11 / HF R10 内蔵メモリーが認識できません	● 内蔵メモリーが壊れている。カメラ修理受付センターにご相談ください。	—
HF R11 / HF R10 内蔵メモリーから動画再生できません 本機で初期化してお使いください	● 内蔵メモリーがパソコンから初期化された。本機で初期化する。	34
HF R11 / HF R10 内蔵メモリーにアクセスできません	● 内蔵メモリーが壊れている。カメラ修理受付センターにご相談ください。	—
HF R11 / HF R10 内蔵メモリーに動画記録できません 本機で初期化してお使いください	● 内蔵メモリーがパソコンから初期化された。本機で初期化する。	34

メッセージ	どうするの？	📖
認識できない記録方式です	● テレビ方式が異なる映像を本機に書き戻した。	—
パソコンで安全な取りはずしをするまでは ● USBケーブルをぬかないでください ● 電源をはずさないでください コンパクトパワーアダプターを接続してください	● 動画再生時、本機をUSBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作はできない。本機のメモリー内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源を外したり、本機を操作する。 ● コンパクトパワーアダプターをつないで、USBケーブルでパソコンに接続しているときは、データの転送や書き戻しができる。	—
パソコンで安全な取りはずしをするまでは ● USBケーブルをぬかないでください ● 電源をはずさないでください 書き込みできない接続方法です 書き込む場合はコンパクトパワーアダプターを接続してからUSBを接続しなおしてください	● コンパクトパワーアダプターをつながないで、USBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作や書き込みはできない。本機のメモリー内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。 ● 本機のメモリー内にデータを書き込む場合は、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、コンパクトパワーアダプターを接続してから、USBケーブルを接続しなおす。	—
バックライトが低輝度に設定されています	● 明るくするときは、DISP.ボタンを2秒以上押す。	28

メッセージ	どうするの?	📖
バッテリーパックを取り替えてください	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	20
バッファオーバーです 記録を中断しました	● カードの書き込み速度が遅いため、記録を中断した。SDスピードクラス2、4、6または10のカードを使用する。	29
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号や静止画番号が最大になった。「オートリセット」してカードを初期化するか、静止画をすべて消す。	34 116 141
プレイリスト登録数オーバーです 分割できません	● プレイリストに映像が999シーンあると、プレイリストに登録しているシーンを分割できない。プレイリストの不要なシーンを消す。	125
分割できません	● 本機の動画管理情報がいっぱいになったため、分割できない。動画と静止画をバックアップして、記録メモリーを初期化する。 ● シーンを本機に書き戻して、再度分割を行う。	34 170
分割できません 初期化が必要です		
HF R11 / HF R10 変換できないシーンがあります	● 変換元に、他機で記録した24p方式のシーンが含まれている。他機で記録したシーンを変換対象からはずす。	—

ふろく

メッセージ	どうするの？	📖
HFR11 / HFR10 変換できません	● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ● マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。 ● 変換するシーンの総記録時間が短すぎる。合計0.5秒以上シーンを選ぶ。 ● ファイル名が作成できなかった。メニューの「静止画番号」を「オートリセット」してカードを初期化するか、静止画と標準画質の動画（Web用／DVD用）をすべて消す。	30 29 — 34 116
編集できません	● プレイリストでシーンの移動ができなかった。プレイリストの不要なシーンを消す。	125
HFR11 / HFR10 本機で記録したシーンではありません コピーできません	● 他機で記録したシーンはコピーできない。	—
本機で記録したシーンではありません 追加できませんでした	● 他機で記録したシーンはプレイリストに追加できない。	—
本機で記録したシーンではありません 分割できません	● 他機で記録したシーンは分割できない。	—
HFR11 / HFR10 本機で記録したシーンではないためコピーできないシーンがあります	● 他機で記録したシーンが含まれた動画はコピーできない。	—

メッセージ	どうするの？	📖
本機で初期化してお使いください	● メモリーに異常があるためアクセスできない。内蔵メモリーまたはカードを本機で初期化する。	34

■ DVDライター（別売）接続中に表示されるメッセージ

メッセージの対処方法についてはDVDライターの説明書もあわせてご覧ください。

メッセージ	どうするの？	📖
カードカバーを閉めてください	● DVDライターと接続中はカバーを開けない。	31
コピーが中断されました	● USBケーブルがはずれたため、ディスクの作成を中断した。USBケーブルを確認する。	—
コンパクトパワーアダプターを接続してください	● 本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ。	—
シーンがありません	● ディスクに保存できるシーンがビデオカメラにない。	—
静止画がありません	● ディスクに保存できる静止画がビデオカメラにない。	—
データを修復できませんでした	● 壊れたデータを修復できない。動画と静止画をバックアップして、記録メモリーを初期化する。	34 170

メッセージ	どうするの？	📖
ディスクがありません	● ディスクを入れる。 ● 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。	178 242
ディスクが認識できません ディスクを確認してください	● ディスク作成時に、8cmのディスクや市販のDVDソフトウェアなどを入れた。未使用のディスクを入れる。 ● ディスク再生時に、未使用のディスクや市販のDVDソフトウェアなどを入れた。DVDライターで作成したディスクを入れる。	—
ディスクへのアクセスに失敗しました ディスクを確認してください	● ディスクの書き込み中または読み込み中にエラーが発生した。 ● 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。 ● ディスクを取り出し、汚れていれば柔らかい布でふき取って、DVDライターに入れ直す。それでも解決しない場合は、別のディスクに交換する。	— 242 —
ビデオカメラから読み出せません	● USBケーブルがはずれていないか確認する。	—
未作成シーンがありません	● ディスクにまだ保存していないシーンがビデオカメラにない。	—

■ プリンター接続中に表示されるメッセージ

メッセージの対処方法については、プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

メッセージ	どうするの？
インクエラー	●インクの残量を正しく検知できないか、またはインクがない。インクを交換する。
インクがありません	●インクが正しく入っていない、またはインクがない。インクを交換する。
インクが残りわずかです	●インクの交換時期が近づいている。「続行」を選ぶと、印刷を再開する。
インク吸収体が満杯です	●お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）に、インク吸収体の交換を依頼してください。インク吸収体はお客様ご自身で交換はできません。
印刷エラー	●「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す。プリンターの状態を確認する。
サイズを選びなおしてください	●ビデオカメラとプリンターで用紙サイズの設定が異なっている。
紙間レバー位置が不正です	●紙間レバー位置を正しい位置に直す。

メッセージ	どうするの？
通信エラー	●「中止」を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切る。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルをつなぐ。 ●大量の静止画が記録されたカードを使って印刷しようとした。静止画の枚数を減らす。
ハードウェアエラー	●「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す。 ●プリンターの状態を確認する。 ●インクに異常がある。インクを交換する。
ファイルエラー	●他機で記録したり、異なる画像タイプで記録したり、パソコンで加工した静止画を印刷しようとした。
プリンターカバーが開いてます	●プリンターのカバーを閉じる。
プリンタートラブル発生	●修理が必要なエラーが起きている可能性がある。キヤノン製プリンターの場合、電源ランプ（緑色）とエラーランプ（オレンジ色）が交互に点滅する。USBケーブルを抜いた後、プリンターの電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。
プリンターは使用中です	●プリンターが使用中。プリンターの状態を確認する。

メッセージ	どうするの？
プリントヘッド 未装着	● プリントヘッドが取り付けられていないか、プリントヘッドの不良。
用紙エラー	● 用紙に異常がある。プリンターの用紙が正しく入っていないか、用紙サイズが間違っている。 ● 排紙トレイが閉じているときは、開ける。
用紙がありません	● プリンターに用紙が正しく入っていない、または用紙がない。
用紙が詰まりました	● 印刷中に用紙が詰まった。[中止]を選んで印刷を中止する。用紙を取り除き、用紙を入れ直してから再度印刷する。

MEMO キヤノン製プリンターPIXUS／SELPHY DSシリーズについて

- プリンターのエラーランプが点滅しているときや、操作パネルや接続したテレビにエラーメッセージが出ているときは、必ずプリンターの説明書でご確認ください。
- 本書やプリンターの説明書を参考に対処をしてもエラーメッセージが表示されるときは、修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落としてこわした
- 内部に水や異物が入った

▶ **バッテリーをはずして、電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、カメラ修理受付センター（📖 275）に問い合わせるか、購入販売店に修理を依頼してください。

⚠警告　死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

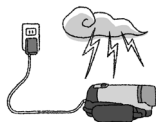
禁止

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。
➤ 火災　感電　けが

雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。 ➤ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 ➤ 感電

ぬらさない。 ➤ 火災　感電　やけど

降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。

液漏れしたバッテリーは使用しない。

➤ 皮膚の傷害 失明 発火

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

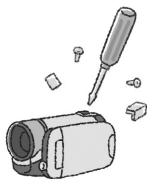
分解や改造をしない。

➤ 発熱 感電 火災 けが

強い衝撃や振動を与えない。

➤ 火災 やけど けが

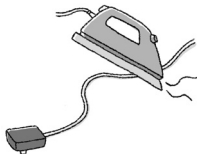
禁止

ストラップ使用時は特に注意する。液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

電源コードについて次のことを守る。

➤ 火災 感電

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない

ふろく

禁止

バッテリーを熱しない、火中投入しない。
➤ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。➤ やけど けが

ショートして、高熱や液漏れの恐れあり。

充電中は長時間にわたる接触をしない。➤ 低温やけど

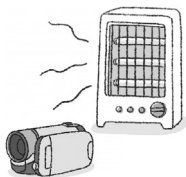
海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC／ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。
➤ 火災 感電 けが

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。
➤ 火災 感電 やけど

内部にほこりや水などが入る恐れあり。

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。

➤ 火災 やけど けが

発熱や破裂の恐れあり。

禁止

運転中に使用しない。➤ 交通事故

不安定な場所に置かない。➤ けが

落下、転倒の恐れあり。

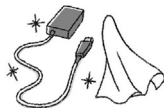
乳幼児の手の届くところに置かない。

➤ 感電 けが

ふろく

指定された機器を使う。➤ 火災

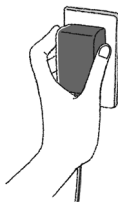
強制

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。➤ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

➤ 火災 感電

強制

コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。
➤ 火災 感電

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。
➤ けが 交通事故

⚠注意 傷害、物的損害を負う恐れがある内容です。

禁止

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。
➤ 火災

内部に熱がこもる恐れあり。

強制

コード類は、つまずかないように配置する。➤ けが

足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下する恐れあり。

バッテリー、リストストラップ、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取り付ける。➤ けが

強制

バッテリーを取り外すときは、落とさないように気をつける。➤ けが

飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。

機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れ。

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。➤ 火災

注意

なるべくビデオカメラを固定して撮影する。

撮影時に不用意にビデオカメラを揺らしたり、素早いズームを多用したりすると、再生時に乗り物酔いのような症状を起こす恐れがあります。その場合はすぐに再生を中止し、休息を取って目を休めてください。

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

■ ビデオカメラ本体

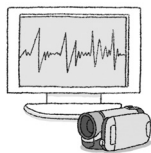
データはバックアップする

故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンやDVD、ビデオ機器などにバックアップしてください。データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

テレビの上などで使わない

プラズマテレビや携帯電話の近くなど、電磁波の出る場所で使うと映像や音声が乱れることがあります。

太陽にレンズを向けない

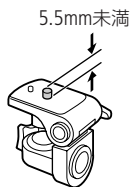
太陽や強いライトなどにレンズを向けると内部の部品が溶けることがあります。

液晶画面を...

つかんでもちあげない ➔ 液晶画面の接合部が破損することがあります。

無理に閉じない ➔ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが5.5mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。

■ バッテリー

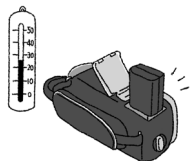
端子はいつもきれいに

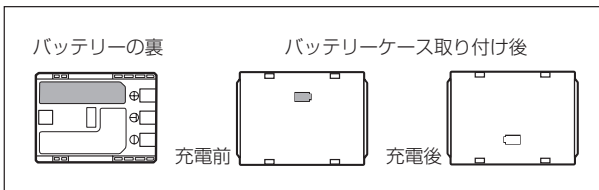
バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃〜30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取りはずし、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

■ バッテリーケースの便利な使いかた

バッテリーケースの「▭」の位置を付けかえることで、充電済みバッテリーを区別できます。

■ カード

データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

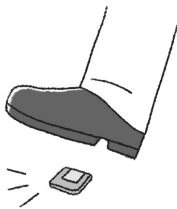
汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

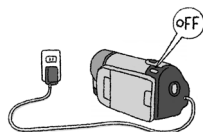
カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまる恐れがあります。

ていねいに扱う

落とす、濡らす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

①電源を切る
②本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ

■ その他のご注意

個人情報の流出に注意（譲渡・廃棄するときは）

内蔵メモリーやカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。

譲渡するときは

一度内蔵メモリーの完全初期化（📖 34）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度完全初期化を行います。これによって、データの復元を困難にすることができます。

廃棄するときは

内蔵メモリーやカードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

結露について

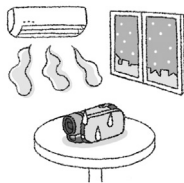
室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、カードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

○ 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ　http://www.jbrc.com
○ プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
○ 被覆をはがさないでください。
○ 分解しないでください。

日常のお手入れ

本体がよごれたときは

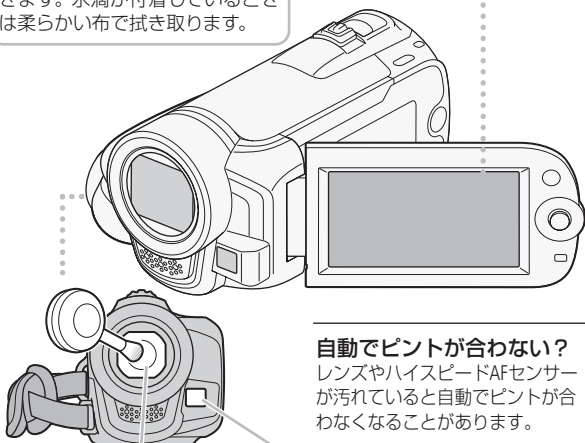
柔らかい布で拭こう

- 乾いた布で軽く拭いてください。
- 化学ぞうきんやシンナーは表面を傷めますので使わないでください。

液晶画面

市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。水滴が付着しているときは柔らかい布で拭き取ります。

自動でピントが合わない？
レンズやハイスピードAFセンサーが汚れていると自動でピントが合わなくなることがあります。

レンズ

ブロアでゴミやホコリを取ったら、市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。

ハイスピードAFセンサー

市販の眼鏡クリーナ（布製）で拭きます。

海外で使う

海外で使用するときの便利機能やマメ知識です。

■ 充電する

海外でも付属のコンパクトパワーアダプター（AC100～240V 50／60Hzまでの電源に対応）を使ってそのまま充電できます。コンセントの形が異なる国では、変換プラグを使用してください。
コンパクトパワーアダプターを変圧器に接続しないでください。故障する恐れがあります。

国や地域によって変換プラグが異なります

タイプ	A	B	BF	C	O
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A
メキシコ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
カナリア諸島	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. O
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. O
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

●中南米	
アルゼンチン	BF. C. O
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C

●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ	
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

■ テレビで見る

本機は撮影した動画をNTSC方式で記録します。以下の国や地域では、NTSC方式を採用しているため、本機をテレビに接続するとそのまま映像を見ることができます。

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- 大韓民国
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバゴ
- トンガ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- ボリビア
- ミャンマー
- メキシコ

（NTSC方式を採用している国や地域　－NHK放送文化研究所発行「世界の放送2007」による－）

■ 旅行先の日時に合わせる

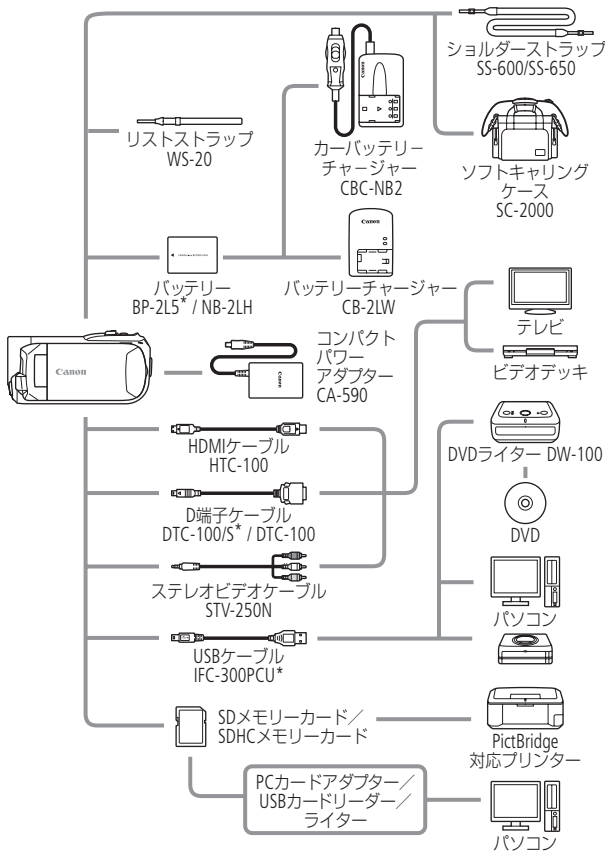
2つの地域の日時を登録できるため、海外旅行先の日時を設定しておくと、撮影した映像が現地時間で記録できます。

1. 「時計を合わせる」（🕮 26）の操作1〜操作3❷までを行う。
2. ジョイスティックを上下に押して、✈ の項目を選ぶ。
3. ジョイスティックを左右に押して、旅行先を選ぶ→ SET を押す。
   - 旅先がサマータイムの場合、☀ が表示されている項目を選ぶ。
4. 「時計を合わせる」（🕮 27）の操作4〜5を行う。

旅行から帰ってきたら

1. 上記の操作2でジョイスティックを上下に押して、🏠 の項目を選ぶ。
2. FUNC.ボタンを押す。

アクセサリー紹介

本機の付属品または別売品について紹介しています。

* 本機の付属品です。別売していません。

● **アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。**
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

FUNC.メニューの紹介

設定できる機能は、撮影／再生のモードによって設定できる機能が異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。

■ 撮影時に使うメニュー

機能	設定内容	動画	静止画	📖
撮影モード	**P（プログラムAE）**	●	●	71
	シネマモード	●	●	75
	SCN（ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチ、夕焼け、夜景、ローライト、スポットライト、打上げ花火	●	●	72
ホワイトバランス	AWB **オート、** 太陽光、電球、セット	●	●	85
画質効果	**画質効果切、** くっきりカラー、すっきりカラー、ソフト、美肌	●	●	87
D.エフェクト設定	**D.エフェクト切**、F1 オートフェード、F2 ワイプ、E1 シロクロ、E2 セピア	●		88
	D.エフェクト切、E1 シロクロ、E2 セピア		●	88
録画モード	**FXP** 高画質モード17Mbps、**XP+** 高画質モード12Mbps、**SP 標準モード**7Mbps、**LP** 長時間モード5Mbps	●		45
静止画サイズ/画質	**LW** 1920×1080、**L 1600×1200**、**S** 640×480		●	136
	スーパーファイン、**ファイン**、ノーマル		●	136

■ 再生時に使うメニュー

動画インデックス画面

機能	設定内容	📖
選択	個別設定、全解除、キャンセル	62
コピー[内蔵メモリー➔SD] HF R11/HF R10	全シーン、この日の全シーン、1シーン、選択したシーン、キャンセル	130
プレイリスト追加	この日の全シーン、1シーン、選択したシーン、キャンセル	123
分割	ー	121
消去	全シーン、この日の全シーン、1シーン、選択したシーン、キャンセル	64
シーン検索	カレンダー、日付選択、顔ジャンプ、キャンセル	56
HD➔SD変換（DVD用）HF R11/HF R10	1シーン、選択したシーン、キャンセル	182

動画プレイリスト画面

機能	設定内容	📖
選曲	MUSIC_01～XX、切	101
コピー[内蔵メモリー➡SD] HFR11/HFR10	いいえ、はい	130
移動	―	126
消去	全シーン、1シーン、キャンセル	125
HD→SD変換（DVD用） HFR11/HFR10	―	182

ビデオスナップインデックス画面

機能	設定内容	📖
選曲	MUSIC_01～XX、切	101
選択	個別設定、全解除、キャンセル	62
コピー[内蔵メモリー➡SD] HFR11/HFR10	全シーン、この日の全シーン、1シーン、選択したシーン、キャンセル	130
プレイリスト追加	この日の全シーン、1シーン、選択したシーン、キャンセル	123
消去	全シーン、この日の全シーン、1シーン、選択したシーン、キャンセル	64
シーン検索	カレンダー、日付選択、キャンセル	56
HD→SD変換（DVD用） HFR11/HFR10	1シーン、選択したシーン、キャンセル	182

ビデオスナップ プレイリスト画面

機能	設定内容	📖
選曲	MUSIC_01～XX、切	101
コピー[内蔵メモリー➡SD] HFR11/HFR10	いいえ、はい	130
移動	—	126
消去	全シーン、1シーン、キャンセル	125
HD→SD変換（DVD用） HFR11/HFR10	—	182

静止画1枚表示画面

機能	設定内容	📖
コピー[内蔵メモリー➡SD] HFR11/HFR10	いいえ、はい	154
静止画プロテクト	—	151
印刷指定	—	163
回転	—	147
消去	いいえ、はい	141
スライドショー	—	144

静止画インデックス画面

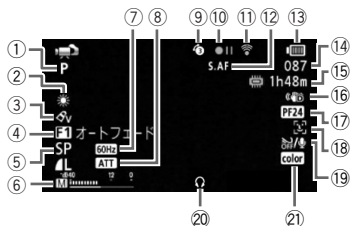
機能	設定内容	📖
選曲	MUSIC_01～XX、切	144
選択	個別設定、全解除、キャンセル	62
コピー[内蔵メモリー➡SD] HFR11/HFR10	すべての静止画、1枚、選択した静止画、キャンセル	155
静止画プロテクト	個別設定、選択した静止画、全解除、キャンセル	151
印刷指定	個別設定、選択した静止画を1枚に設定、全解除、キャンセル	164
消去	すべての静止画、1枚、選択した静止画、キャンセル	141
スライドショー	―	144

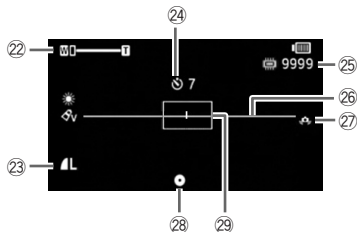
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。
- FUNC.ボタンを押すと、メニューが終了します。

画面の見かた

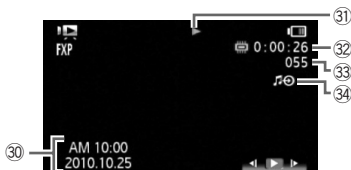
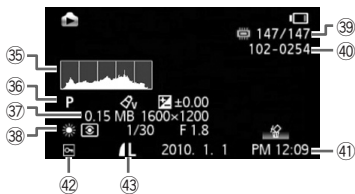
撮影中や再生中に表示される情報です。■ 内の数字は参照ページです。

■ 撮影のときの画面

動画のとき

① 撮影モード 71
② ホワイトバランス 85
③ 画質効果 87
④ デジタルエフェクト 88
⑤ 録画モード 45
⑥ レベルメーター 92
⑦ フリッカー低減 109
⑧ マイクアッテネーター 111
⑨ プレREC 77
⑩ 撮影状況 256
⑪ Eye-Fi 201
⑫ フォーカス 81／ハイスピードAF 110
⑬ バッテリー残量の目安 256
⑭ 撮影シーン数／撮影時間(時：分：秒)
⑮ 撮影可能時間 256
⑯ 手ブレ補正 109
⑰ フレームレート 107

静止画のとき

⑱ フェイスキャッチ 83
⑲ ウィンドカット 111
⑳ ヘッドホン 95
㉑ x.v.Color 107
㉒ ズーム 47
露出 80
㉓ 静止画画質／サイズ 136
㉔ セルフタイマー 78
㉕ 静止画の記録可能枚数 256
㉖ マーカー 111
㉗ 手ブレ警告 111
㉘ ピント・露出の固定状態 134
㉙ AF枠 134

■ 再生のときの画面

動画のとき

静止画のとき

㉚ データコード 91
㉛ 再生状況 256
㉜ 再生時間(時：分：秒)
㉝ 再生シーン番号
㉞ 外部音源入力 103
㉟ ヒストグラム 148
㊱ 撮影モード 71 /
画質効果 87 /
露出 80
㊲ データ量/サイズ 136
㊳ ホワイトバランス 85 /
測光*/
シャッタースピード /
しぼり数値
㊴ 表示枚数/全枚数
㊵ 静止画番号 116
㊶ 日時 26
㊷ 静止画プロテクト 151
㊸ 静止画画質/
サイズ 136

* 評価測光していることを示します。
操作はできません。

⑩ 撮影状況／㉛ 再生状況

●：撮影（録画）　●❚❚：撮影一時停止　▶：再生　❚❚：再生一時停止

▶▶：早送り　◀◀：早戻し　◀❙/❙▶：スロー再生

⑬ バッテリー残量の目安

バッテリーの残量の目安をマークで表示します。 が赤く表示されたら、バッテリーが消耗しています。充電したバッテリーと交換してください。本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容が一致しない場合があります。

⑮ 撮影可能時間

メモリーに空きがなくなると、「 END」または「 END」が点灯し、停止します。

㉕ 静止画の記録可能枚数

枚数の緑色表示は残り6枚以上、黄色表示は残り1～5枚、赤色表示は0枚を示します。ただし、再生時はすべて緑色で表示とします。記録可能枚数は記録時の状況により異なることがあります。記録しても枚数表示が減らなかったり、一回の記録で2枚減ることがあります。

ふろく

主な仕様

iVIS HF R11 ／HF R10 ／HF R100 システム

内蔵メモリー／カード記録	動画：	AVCHD規格 映像圧縮方法：MPEG4-AVC/H.264 音声圧縮方法：Dolby Digital 2ch
	静止画：	DCF準拠、Exif Ver2.2準拠、DPOF対応（カードのみ） 静止画圧縮方法：JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル）
信号方式	NTSC方式準拠、1080/60i方式*	
記録メモリー	HF R11	内蔵メモリー（容量：32GB）、SD/SDHCメモリーカード
	HF R10	内蔵メモリー（容量：8GB）、SD/SDHCメモリーカード
	HF R100	SD/SDHCメモリーカード
録画／再生時間（□ 45）	HF R11	内蔵メモリー（FXP、XP＋、SP、LP） 約4時間10分、約5時間45分、約9時間35分、約12時間15分
	HF R10	内蔵メモリー（FXP、XP+、SP、LP）： 約1時間、約1時間25分、約2時間20分、約3時間
	16GBメモリーカード（FXP、XP+、SP、LP）：	約2時間5分、約2時間50分、約4時間45分、約6時間5分
撮像素子	1/5.5型CMOS、総画素数　約239万画素 有効画素	
	動画	「手ブレ補正」が「ダイナミック」のとき：約104万画素 「手ブレ補正」がダイナミック以外のとき：約156万画素
	静止画	静止画（16:9）：約156万画素 静止画（4:3）：約173万画素
液晶画面	2.7型TFTワイドカラー液晶（約11.2万ドット）	
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク	
レンズ	f=3.0－60.0mm　F=1.8－3.6　光学20倍ズーム 35mmフィルム換算時の焦点距離	
	動画	「手ブレ補正」が「ダイナミック」のとき：約49-980mm 「手ブレ補正」がダイナミック以外のとき：約40-800mm
	静止画	静止画（16:9）：約40-800mm 静止画（4:3）：約40.2-804mm

* メニューの「フレームレート」を「PF24」または「PF30」に設定しているときは、60iに変換して記録します。

レンズ構成	8群10枚、非球面レンズ1枚（2面）使用
焦点調整	TTL自動焦点（TTL＋外部測距：ハイスピードAF選択時）、 マニュアル調整可（動画のみ）
最短撮影距離	ワイド端1cm、ズーム全域1m
ホワイトバランス	フルオート、（セット、太陽光、電球 付）
最低被写体照度	0.4ルクス（ローライト（SCN）、シャッタースピード1/2秒時） 5ルクス（P（プログラムAE）モード（オートスローシャッターオン）、シャッタースピード1/30秒時）
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ブレ補正機能 （動画時のみ）	電子式（ダイナミックモードあり）
動画サイズ	**FXP**：　1920×1080 **XP＋**/**SP**/**LP**：1440×1080
静止画記録サイズ	静止画：　**LW**（1920×1080）、**L**（1600×1200）、**S**（640×480） あとからフォト：**LW**（1920×1080）

入・出力端子

映像／音声出力端子 （AV OUT端子）	Φ3.5mmステレオミニジャック、1Vp-p／75Ω -10dBv（47kΩ負荷時）／3kΩ以下
USB端子	mini-B、USB2.0 Hi-Speed
コンポーネント出力端子 （COMPONENT OUT端子）	Y：1Vp-p、75Ω PB/PR.CB/CR：±350mV、75Ω D3（1080i）対応、出力のみ、特殊D端子
HDMI OUT端子	HDMIミニコネクター、出力のみ、CEC対応、**x.v.Color**対応
ヘッドホン端子	Φ3.5mmステレオミニジャック（AV OUT端子兼用）
外部マイク入力端子	Φ3.5mmステレオミニジャック、-57dBV（600Ωマイク使用時）／5kΩ以上

電源その他	
電源電圧	DC7.4V（バッテリーパック）、DC8.4V（DC IN）
消費電力 （SPモード、AF合焦時）	約2.8W（液晶画面明るさ標準）
動作温度	0℃〜＋40℃
外形寸法 （幅×高さ×奥行き）	約60×64×124mm（グリップベルトを含まず）
撮影時総質量	約325g（バッテリーパックBP-2L5、SDメモリーカード、グリップベルト含む）
本体質量	約270g（グリップベルトを含まず）

コンパクトパワーアダプター　CA-590	
電源	AC 100V-240V、50/60Hz、0.14〜0.08A
出力／消費電力	公称DC8.4V、0.6A
使用温度	0℃〜＋40℃
外形寸法 （幅×高さ×奥行き）	約46×26×70mm
本体質量	約95g

バッテリー　BP-2L5	
使用電池	リチウムイオン
使用温度	0℃〜＋40℃
公称電圧	DC7.4V
容量	530mAh
外形寸法 （幅×高さ×奥行き）	約33.3×16.2×45.2mm
質量	約40g

バッテリーの使用時間の目安

付属のバッテリーBP-2L5と別売のNB-2LHをフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

内蔵メモリーに記録時 HF R11 / HF R10

録画モード	使用時間	BP-2L5	NB-2LH
FXP	連続撮影時間	1時間15分	1時間40分
	実撮影時間	45分	1時間00分
	再生時間	1時間50分	2時間25分
XP+	連続撮影時間	1時間20分	1時間45分
	実撮影時間	45分	1時間00分
	再生時間	1時間50分	2時間25分
SP	連続撮影時間	1時間20分	1時間45分
	実撮影時間	45分	1時間00分
	再生時間	1時間50分	2時間25分
LP	連続撮影時間	1時間20分	1時間45分
	実撮影時間	50分	1時間05分
	再生時間	1時間50分	2時間25分

メモリーカードに記録時 HF R11/HF R10/HF R100

録画モード	使用時間	BP-2L5	NB-2LH
FXP	**連続撮影時間**	1時間15分	1時間40分
	実撮影時間	45分	1時間00分
	再生時間	1時間50分	2時間25分
XP+	**連続撮影時間**	1時間15分	1時間40分
	実撮影時間	45分	1時間00分
	再生時間	1時間50分	2時間25分
SP	**連続撮影時間**	1時間20分	1時間45分
	実撮影時間	45分	1時間00分
	再生時間	1時間50分	2時間25分
LP	**連続撮影時間**	1時間20分	1時間45分
	実撮影時間	50分	1時間00分
	再生時間	1時間50分	2時間25分

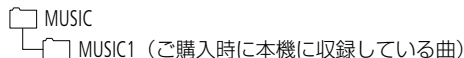
* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入／切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。
* 液晶画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。
* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

バッテリーは予定撮影時間の2〜3倍分をご用意ください

ビデオカメラの消費電力はズームなどの操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

音楽ファイルについて

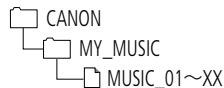
本機でビデオスナップなどに使う音楽は以下の形式です。
サンプリング周波数：48kHz
音声形式：リニアPCM
量子化ビット数：16bit
チャンネル数：2
再生時間：1秒以上
データ形式：WAV

MUSIC
└ MUSIC1（ご購入時に本機に収録している曲）

音楽ファイルはパソコンで見ると、以下のように保存されます。

内蔵メモリーのとき HF R11 / HF R10

CANON
└ MY_MUSIC
　└ MUSIC_01〜XX

SDメモリーカードのとき

CANON
└ PRIVATE
　└ MY_MUSIC
　　└ MUSIC_01〜XX

Full HD 1080について

Full HD 1080とは垂直画素（走査線）数1080画素（本）のHD（High Definition）映像に対応しているキヤノン製ビデオカメラを示しています。

iVIS HF R11／HF R10／HF R100 は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
iVIS HF R11／HF R10／HF R100 は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

さくいん

ア行

カ行

サ行

ふろく

タ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

そのほか

商標について

- SD、SDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、iPodは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- 「x.v.Color」および「x.v.Color」ロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- "AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- YouTubeはGoogle Inc.の商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

MPEG-2使用許諾について

個人使用目的以外で、MPEG-2規格に適合した本機を、パッケージメディア用に映像情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許使用許諾を取得する必要があります。
この特許使用許諾はMPEG LA, L.L.C.,(250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206 USA)から取得可能です。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービス

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

- 故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は、十分な梱包でお送りください。

補修用性能部品について

- ビデオカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後8年です。従って、期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましては弊社またはお買い上げ店にお問い合わせください。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理について

■ 修理に出すまえに

- 修理によっては、内蔵メモリーの初期化・交換をすることがあり、その場合、記録データはすべて消去されます。修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。

- 修理の際、不具合症状の再現・確認のために、必要最小限の範囲でメモリー内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。

■ 修理のお問い合わせは

カメラ修理受付センター

050-555-99077（全国共通）

平日・土曜日 9:00〜18:00
日曜日、祝祭日、年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。

上記電話番号をご利用になれない場合は、043-211-9394をご利用ください。

- 購入年月日、型名「iVIS HF R11」「iVIS HF R10」または「iVIS HF R100」、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口（サービスセンター、修理センター）をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法（宅配便発送／弊社によるお引き取り）やお届けについてご案内いたします。

ビデオカメラの使いかた
フォトアプリケーションの使いかた

キヤノン お客様相談センター

050-555-90003 (全国共通)

平日 9:00～20:00／土日祝日* 10:00～17:00

*1月1日～1月3日を除く

※上記番号をご利用できない場合は**043-211-9394**をご利用ください。

PIXELA ImageMixer 3 SEの使いかた

株式会社ピクセラ ユーザーサポートセンター

0120-727-231

10:00～18:00 (年末年始、祝日を除く)

※携帯電話・PHSをお使いの場合やフリーダイヤルをご利用になれない場合は**06-6633-2990** (FAX 06-6633-2992)をご利用ください。

デジタルビデオカメラホームページ

最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお立ち寄りください。

■ デジタルビデオカメラ製品情報
http://canon.jp/ivis

■ キヤノン サポートページ
http://canon.jp/support

■ CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

PUB. DIJ-0349-000

本書の内容は2010年6月現在です。製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。